

我々太陽神の民族が

覚醒するとき

世界史が変わる

生き残るために精神武装をせよ

天野 雲海

目次

はじめに 13

- 100年ぶりに世界の歴史が変わる 14
- ・ ユダヤ人を汚れ仕事に使ったのは王族達である 15
- ・ 今現在でも、王族達を超えられない金融ユダヤ人 16
- ・ 左派ユダヤと右派ユダヤがいる 16
- ・ 悪魔の心情は孤独と疎外感と恨みと嫉妬です 17
- ・ 弥生時代以前に日本にもユダヤ人が来ている 18
- ・ 日本が狙われている 19

- ・金融資本主義（グローバリズム）は共産主義と同じ 20
- ・官僚主義は共産主義 21
- ・規則と決められた手順通りにやらないといけなのが共産主義 23
- ・規制と増税が大好きな共産主義 24
- ・共産主義が大好きなのは「土」業 25
- ・ユダヤ民族の理想は天皇制の日本だった 26
- ・君主と人民の間に利害関係の対立がない国がユダヤの理想とする国 27
- ・ユダヤのタルムード思想とは日本の天皇制のこと 28
- ・日本国憲法はGHQの左派ユダヤ人による作文 29
- ・教育改革は〇×思想を植え付け創造力を奪うことが目的だった 30
- ・良識あるアメリカ人はユダヤ人大統領のルーズベルトを攻撃した 32

洗脳の仕組みを知る 35

■言葉は洗脳のマジックである 36

- ・物質主義で神や仏や慈愛を認めないのが左派ユダヤ 37
- ・太陽神の国 わが日本 38
- ・グローバリズムの正体 40
- ・NHKの実体 41
- ・トランプ大統領が日本に要求していること 41
- ・平成天皇が引退されたワケ 42

陰のユダヤ人と陽のユダヤ人 45

■陰のユダヤ人と陽のユダヤ人 46

- ・オバマ元大統領までの歴史 46
- ・トランプ大統領から変わった 47
- ・サタニズムにやられた左派ユダヤ人 48
- ・迫害されたユダヤ人の解放 51
- ・左派ユダヤにのつとられたアメリカ 53
- ・左派ユダヤが作ったEU 54
- ・カルロス・ゴーンは左派ユダヤの番頭 56
- ・グローバル主義に染まった人はつまらない 60
- ・国家の枠組みを超えて世界を見る 61

サタン（悪魔）がサタンでなくなる日

63

ユダヤ人の世界戦略

67

■陽のユダヤ人がどうやって世界史を動かしてきたのか？ 68

・迫害され続けてきた歴史 68

・ロシア革命はユダヤ人解放が目的 69

・被害者に正義を主張させるのが左派 71

・官僚主義が共産主義 72

・ソ連崩壊後はユダヤ人に支配されそうになったロシアだが・・・ 75

・国連に流れた共産主義者 76

■被害者意識から出発した共産主義 77

・アメリカの建国の精神とは？ 77

・日本も共産化されている 81

・ウォール街のアメリカ人はアメリカ人ではないと叫ぶ

83

中国共産党はマルクス主義だが・・・ 85

■中国共産党はもう古い 86

・時代遅れのマルクス主義を主張する周近平 86

・古代国家「周」を作った民族 90

・中国はこのままだと孤立するしかない 90

・中国の海外支援はマネーロンダリング 93

・共産主義者は自然界に学べ 97

ソビエトと北朝鮮を支配したユダヤ人

99

8

- ・愛国者プーチン大統領の登場 103
- ・北朝鮮はどうなるか？ 104
- ・韓国はどうなるか？ 105
- ・共産主義の運営元はロンドンとニューヨーク 108
- ・ユダヤ左派の言う統一世界とは？ 110
- ・追いつめられる左派ユダヤ人 111
- 朝鮮半島を南北に分断させたのはだれ？ 112
- ・スポンサーがいなくなった北朝鮮 114

追いつめられるディープステート

117

■世界を支配してきたディープステートだが・・・ 118

・FRBの創立が起点 118

・学会をのつとるということは医療を支配すること 120

・金融の本領を無視した現代経済学はフェイク 123

■国という概念を認めない左派ユダヤ人 126

・国際機関は国から主権を奪う道具 127

・だれも反対できない正義の御旗の「平和」を利用した左派ユダヤ 128

・ブラックマンデーで優良企業をものにした左派ユダヤ 129

・日中戦争を仕掛けた左派ユダヤ 130

- ・ 日本共産化の仕上げは太平洋戦争
- ・ GHQの手先となったインテリ日本人 132131
- ・ ヒトラーは左派ユダヤと戦った 133
- ・ 9・11事件も仕掛けられたワナ 135

大転換する世界史そのあと中心となる国は？

139

■ トランプ大統領の出現は救世主登場

- ・ 執拗なメディアの印象操作が繰り返されるわけ 140 140
- ・ 愛国心あふれるトランプ大統領 142
- ・ 日本の新聞もフェイク 143

■精神武装をしてアカに気をつける 147

・愛国心のあるプーチン大統領とトランプ大統領は分かり合える 150

・日本に自立せよと迫るトランプ大統領 151

・安倍総理の後は？ 153

・狙われる皇族 154

・唯物史観を植え付けるNHK 155

・唯物史観を植え付ける古い運命学 156

・相場で勝つための精神武装 157

・投資先をどうやって選ぶ？ 158

・仮想通貨って？ 160

・具体的な精神武装 162

・世界の中心は日本になる 164

はじめに

■ 100年ぶりに世界の歴史が変わる

大げさに言っているわけではありません。1900年の初めから今日までの世界史を背後から動かしてきた連中の巧妙なやり方が白日のもとにさらされてきました。15年くらい前から、ネットの情報やYOUTUBE情報では、世界を裏で動かしてきたのは、ロックフェラーとかロスチャイルドの左派ユダヤ人の国際金融資本だといわれてきました。最近では、書店に並ぶ本でさえも、ロックフェラーやロスチャイルドが世界史の黒幕だという陰謀論が多くなってきました。

断片的な情報はもうあふれてきているので、読者も見たり聞いたりしたことはあるでしょう。しかし、1900年からの100年間の歴史的な史実から解析してトータルに鳥の目で見て解説しているものは多くはありません。

まずはユダヤ人の数千年の歴史を知ることです。旧約聖書の時代からユダヤ人がどんな生活をしてきたのかを数千年前にさかのぼって検証してみると、彼らのやり方の根源にあるものが見えてくるのです。この本を読み始める前に、断片的なネット情報では理解できないことを解説しておきます。

・ユダヤ人を汚れ仕事に使ったのは王族達である

中世ヨーロッパでは、王族達は汚れ仕事をユダヤ人に押し付けていました。当時の文化では、大衆から税金を徴収する仕事は嫌われ仕事でした。金を貸す職業も最下級の仕事とされ嫌われていました。そんな汚れ仕事をユダヤ人に押し付けたのは王族達です。今では王族達の汚れ仕事を請け負ってきた金融ユダヤ人達が国にマネーを貸し付けるくらいに力をもってきたわけですが、何百年ものい間、金融ユダヤ人達がどういう心情でいたかを想像してみてください。

・今現在でも、王族達を超えられない金融ユダヤ人

世界史を動かしてきたのが国際金融資本の左派ユダヤ人であることはもうだれの目にも明らかになってきています。国境という概念をなくすることで王族達を超えようと百年間頑張ってきたのですが、結局は王族達を超えられませんでした。王族は土地から離れることができません。生まれ育った土地を愛して良くしていくしかない宿命を背負っています。

国際連盟、国際連合、IMFなどさまざまな国際機関をつくり国境を越えた統治機構を作ろうと左派ユダヤ人は頑張ってきたのですが、EUをつくったのが彼らの最後の大きな仕事になりました。そのEUからイギリスが脱会するわけです。背後には英国の王室の力があるのは明らかでしょう。「もうあなた達のは自由にはさせないわよ」というエリザベス女王の心の声が聞こえませんか？

・左派ユダヤと右派ユダヤがいる

ユダヤ人だから金融を支配するロックフェラーとかロスチャイルドみたいな

連中ばかりだと思っただけです。パレスチナに住む髪が黒く、目も黒い民族もユダヤ人です。彼らは紀元前の昔からパレスチナ付近に住む正統派のユダヤ教徒です。決して世界を支配しようなんて思っていない。また、1948年に建国されたイスラエルに住む人達ももちろんユダヤ人です。彼らはソ連やポーランドなどのヨーロッパから集まってきた人達で、国境を守るために必死で国のために働いています。

筆者もイスラエルのIT企業の社員と同じオフィスで仕事をしたことがありますが、大人しく、信仰深く、愛国心があり、超働き者でした。残業代などなくても会社のために必死で働いていました。彼らはとても優秀です。ユダヤ人が自分達が神から選ばれた選民であると信じるのも分かります。

・悪魔の心情は孤独と疎外感と恨みと嫉妬です

聖書には神の一番弟子であった大天使ルシファーが墮落して悪魔（サタン）になったという記載があります。もともとは神からもつとも信頼されていたル

シファアが神の命令に背いて、役職を奪われ追放されて悪魔になったわけです。そんな悪魔の心情が分かるでしょう？自分はこんなにも能力があるのに用いられなかった。自分は上に立つべき存在なのに落とされた。自分は周囲から賛美されるべき存在なのに今は軽蔑されている。ああ、憎い、寂しい、だれも自分を認めてくれない、悔しいという心情なんです。ね。

左派ユダヤの心情が同じです。

・弥生時代以前に日本にもユダヤ人が来ている

旧約聖書に、モーゼがエジプトで奴隷だったユダヤ人を引き連れて脱出しカナンの地に民族大移動したという物語りがあります。その後、ユダヤ人が作った国家は分裂して世界に離散しますが、そのうちの一部が日本に来ています。弥生時代の埴輪（はにわ）を見てください。鼻が大きく鉤鼻でしょう。なかには立派な髭をたくわえたものもあります。およそ日本的な顔立ちとは違った人相の埴輪が沢山あるのです。神社の鳥居もユダヤと同じですね。つまり太古の昔に、

日本はユダヤ人を受け入れ彼らの持つ技術を習得し、ユダヤ人を土着化させたわけです。奈良の法隆寺は西暦600年頃に建築されたのですが、1500年以上も建っています。この技術は元々の日本民族が生み出したものではなく、日本に土着したユダヤ人達が生み出したものだと予想します。

・日本が狙われている

過去100年にわたって左派ユダヤが世界を支配してきたことはもうばれました。逆襲が始まっています。愛国心のあるトランプ大統領は左派ユダヤが支配するメディアと徹底して戦っていますね。ロシアのプーチン大統領はロシアの資源を手に入れようとした国際金融資本家の手下を逮捕、投獄していま



すね。イギリスは力づくでEUから脱会しようとしていますね。左派ユダヤ人の排斥運動が起こりそうな勢いです。彼らは逃げ場を探しているはずです。太古の昔に自分達の先祖が移住し土着化した日本は格好のターゲットなわけです。おまけに日本人はぼくとしていますから、自分達が狙われているという実感がありません。日本をわがものにしようと狙っているのは明らかです。彼らから尊敬され土着化させる人格を我々がもっているかどうか？が問われるのです。太古の日本人にはそれができたわけです。

・金融資本主義（グローバリズム）は共産主義と同じ

学校で教える近代史は、資本主義と共産主義は対立して別ものだと教えられます。これは実は左派にのつとられた文部省と学会が教えるフェイク歴史です。資本主義の進んだものがグローバリズムではなく、共産主義の形を変えたものがグローバリズムです。この本を最後まで読めば理解できるはずです。左派ユダヤは非常に巧妙です。共産主義は悪。資本主義は善という世の中に変わって

きたら、グローバリズムというものに変えて世界を統治しようとしているのですから。グローバリズムは国という概念を破壊して世界を一部のエリート集団である国際機関が統治したほうがいいという理念です。すでにマネーとモノはそうなっています。ヒトも輸出しまくっていて世界から嫌われているのが中国です。

・官僚主義は共産主義

大衆は馬鹿だから、一部のエリートが大衆は、何を考え、何を楽しみ、何を学び、何を食べ、病気になつたらどんな治療をし、どんな薬を使うのか、どんな人生を生きたらいいのかを全部規定してあげましょうというのが官僚主義です。そこには自由がありません。新しいことをやろうと思つても、官僚が作った規制があつてできません。

学校で教える内容は、文部省が決めてあげましょう。癌になつたらその治療法は学会が決めてあげましょう。世の中のことが知りたければエリートが作っ

た新聞やメディアから学べばいいでしょう。住むところも決めてあげましょう。生活費がないなら生活保護のお金を支給してあげましょう。そのかわり車とテレビは持てません、贅沢はダメです、なにもしないで食べて寝て暮らしてください。スポーツや娯楽は適当にやってください。エリート達の官僚は高給が必要だから大衆は税金をたくさん払ってください。というのが官僚主義です。

一部の権力をもった人が富み、その他大勢は奴隷のようでもいいというのが共産主義です。ソ連時代の共産党、今の中国共産党を見てください。共産党員だけが富み、その他大勢は引越しの自由もなく、農村部の女性は都会の青年と恋愛関係になることは絶対に許されないような状態です。

20年くらい前、筆者は中国ハルピンの女性と国際結婚しようというビジネスをやったことがあります、そこで面接に来た女性達の本音は、一生こんな農村で低い身分でいるのは嫌だ。日本に行つて新世界で生きたい。中国を飛び

出せれば男性はだれでもいいといったものでした。なんだかハルピンに行くのが嫌になってしまつて半年で撤退したことがあります。パートナーとなった中国人も、中国共産党に目をつけられないか細心の注意を払っていました。

共産主義はやたらとルールと手順を重視します。支配者が支配者でいられるために、それを強要するわけです。日本の政治家も左派思想にやられています。議論するとき、それは手順が間違っているとか、やり方がおかしいとか、なんとか委員会を作つて議論させるとか、やたらにそういつた手順に関する発言が目立つでしょう。トランプ大統領のように、手順もルールもすつとばして、国益にマッチしたことを「やれ」と官僚に号令するのが本来の政治家です。

・規則と決められた手順通りにやらないといけないのが共産主義

共産主義は規則が大好きです。弁護士出身のオバマ大統領はアメリカを弱体化させた大統領でした。官僚が作った規定書がオバマ大統領の時代に7倍に増

えました。くだらない規定が大量生産されました。たとえば、シーリングファンのエネルギー効率を向上させるための規定をしたおかげで、シーリングファンの値段は大きく上がってしまいました。砂利道を作ったり、耕作地を作ったり粉塵が出るのでこれは汚染物質に該当すると規定して農家は大打撃を被りました。

男女平等とか性のマイノリティを差別してはいけないという「正義」の御旗をかかげて、レストランのトイレの入り口にある男・女というプレートを外さなければいけないという法案を通したのはオバマです。身体は男でも心は女だから女性用トイレを利用させるのが正義だという理屈です。ふつうの大多数の女性にとっては気持ち悪いはずです。トランプ大統領は、即刻この法案を排除しました。

・規制と増税が大好きな共産主義

規制を増やせば増やすほど、官僚は権力を持ちます。そして、増税をして大

衆から富を奪います。役人の権力が際限なく大きくなり、民間の活力が失われていくのが共産主義です。トランプ大統領は真逆です。政府は放置しておけば無駄に大きくなるばかりだから、規制をなくし、自由を与え、政府を小さくして、その分政府コストを抑えて、減税するというものです。事業家のトランプらしい発想です。これが真の民主主義の姿です。

・共産主義が大好きなのは「士」業

資格をもたないとビジネスができない医師、歯科医、弁護士、税理士、会計士、といった士業というのは、共産主義にとってはとても相性が良い職業です。左派が支配する学会が試験問題をつくるわけでしょう。その試験問題にパスするために一生懸命に勉強するということは、そのまま左派思想が植え付けられるということなんです。今の医学は、身体をパーツに分解してパーツごとに診断する医療です。もうこの時点で分断されています。それで治るのか？と言えど治りません。対処療法だけしかできません。たとえば、東洋医学では肺と大

腸は同じ気であるとしています。肺炎の患者が来たら便秘を治すということもやるわけです。総合医療が東洋医学です。現代医学では。肺炎の患者が来たら、医者は肺しか診断しません。

弁護士というのは無味乾燥な規則の集合体を頭にインプットしなければなりません。そんなことができるのはだいたいが左派思想の持ち主で手順やらルールやらを重視する生き方を好みます。秋篠宮家の眞子さんのお相手が弁護士スクールに通っているといいますがはたして・・・

・ユダヤ民族の理想は天皇制の日本だった

今から40年以上前に出版された『あるユダヤ人の懺悔 日本人に謝りたい』という本があります。ユダヤの長老が書いた本で復刻版が出ています。この中には、ゆがんだユダヤ教の信者によって世界を共産化してきた歴史が解説されています。その中で戦前の日本の天皇制が実はユダヤ民族の理想であり、おそら

くは世界平和を実現するただ一つのシステムだったのに、それに気が付かない若い恥知らずの無知なユダヤ人達が日本を共産化するためにGHQを通して日本の伝統文化を破壊し、君民一体という理想を破壊する工作を戦後やったことを懺悔しているのです。君主は神官であるべきで権力はもたないのが理想です。権威はあっても権力はないというのが天皇制の伝統でした。その権威を落とそうとするのが左派ユダヤの目的でした。

・君主と人民の間に利害関係の対立がない国がユダヤの理想とする国

正統なユダヤ人は君主と人民との間に対立がない国を理想としていました。そんな国はあるはずもないから、仕方なく民主主義を選ぶしかないと言ったのが、フランス革命に影響を与えたユダヤの大思想家のルソーです。ヨーロッパの王族達、中近東の王族達、東南アジアの王族達は国民と対立する立場です。搾取する側と搾取される側です。同じ王族であっても、日本の天皇制だけが例外なわけです。

・ユダヤのタルムード思想とは日本の天皇制のこと

わがユダヤの王は目に見えない護衛だけで守られる。われらの王は威厳に満ちていてその権力を行使するのは人民の幸福のためであり、決して王自身や王朝一族のために用いることはない。かくして王への尊敬と威厳はいやがうにも高まり、人民に崇拜され尊愛されるのである。そのため王は神格化されるだろうが、それはひとえに王の権威が人民に安らぎと幸福を保障するコーデインエータの役を果たすからである。

これがユダヤのタルムード思想の肝要な部分なのです。まるで日本の天皇制ではないでしょうか。そう本来のユダヤ人は日本的な考え方なのです。

今現在の国際金融資本家の左派ユダヤ人が、どれだけ伝統的なユダヤ教から外れてしまっているかが分かるでしょう。悔い改めないと左派ユダヤ人は伝統的なユダヤ人からも軽蔑されているのです。

・日本国憲法はGHQの左派ユダヤ人による作文

ユダヤ人長老のモルデカイ・モーゼの著書によると、日本国憲法は戦後GHQの中にいた左派ユダヤ人の作文だと告白しています。何千年もの間、国を持って迫害され続けたユダヤ人が、日本という国の特殊な歴史を知らないで、つまり無知なまま自分達の理想を日本国憲法にしたと言っています。

憲法に定められている

・生存の自由

・市民的政治的自由

・民族の自由

・公務員は全体の奉仕者であって一部の奉仕者ではない。

・いかなる奴隷的拘束も受けない。

は日本人にとっては江戸時代の昔から当たり前のことです。しかし、ユダヤ人にとっては生きることさえ困難な歴史でした。市民権もなければ政治的な自由もないのが当たり前の歴史でした。世界各地でユダヤ人が迫害されてきた歴史

でした。仕事も制限され住む所も制限され、教育も差別されてきた歴史でした。あのアインシュタインでさえドイツの大学に入学することを拒否されたのです。そんな被害者意識から作文されたのが日本国憲法なのです。そういった迫害を具体的に規制を作ったのが公務員ですから公務員は信用ならんという条文があるわけです。

いっぽうで、勤労者の団結する権利を認めるという条文は、君主は信用ならん存在だからいつでも闘争できるということを暗示しています。ヨーロッパの王族から迫害されてきた恨みが日本国憲法になっっているわけです。憲法改正の前に、だれがどんな動機で憲法を書いたのか？を周知しなければなりません。

・教育改革は○×思想を植え付け創造力を奪うことが目的だった

戦後の教育は、○×思考を日本人に植え付けるのが目的でした。つまり答えがもう試験用紙に書いてあるわけです。二元論法に慣れてしまうと、創造力が削がれます。依頼心の強い人間が教育されていくわけです。

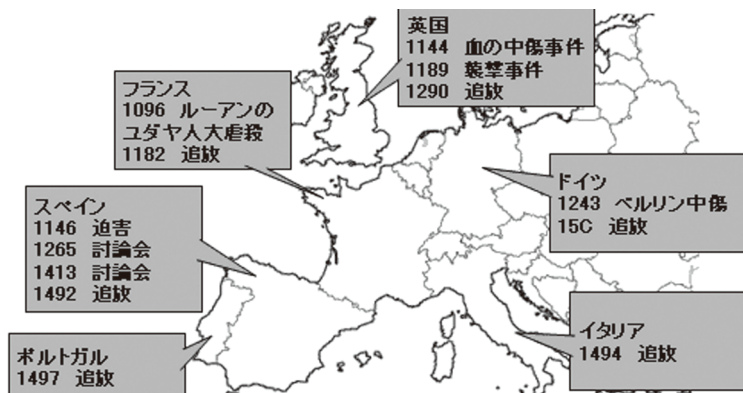
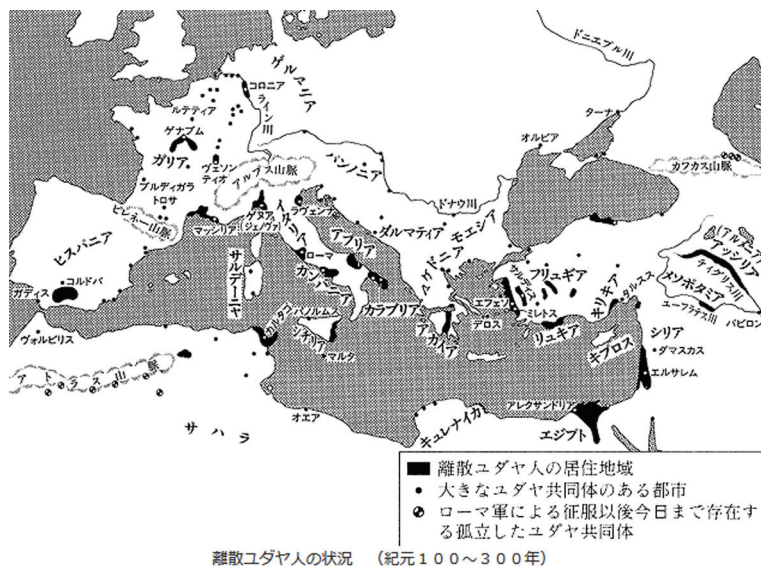
大学入試の共通テストもマークシート方式でしょう。今60歳以上の人は、マークシート方式ではない筆記試験だったので創造力があります。マークシート方式に慣れてしまった世代は、答えはGOOGLEで検索すれば出てくるといふ発想です。深く考えることができません。株式投資をすれば、ギャンブルのような売買しかできません。戦後の学問はすべて○×方式のものが良いとされ日本人の創造力はどんどん削がれていきました。医学なんて、検査をして数値データをみて、あなたの病気はなににですというまるでAIロボットのよくな医者ばかりを養成してきました。問診から病気の真の原因を探る医者なんてほとんどいません。

実は運命学も同じです。運が○、運が×という単純なものが流行しそれが占いだとされてきました。どんなに難解に見える運命学の本を読んでも、結論は○か×だけです。そのプロセスがやたらに難解にみせているだけのフェイク本ばかりです。

この書籍はそんな○×思考を打破する内容です。問題だと思っていることが実は問題ではない。問題ではないと思いきんでいることが問題であるという創造力に満ちた本です。

・良識あるアメリカ人はユダヤ人大統領のルーズベルトを攻撃した

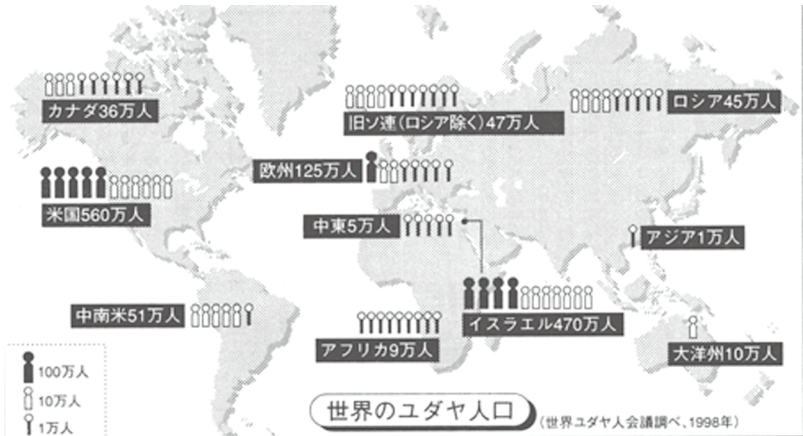
太平洋戦争を起こした責任は、ユダヤ人のルーズベルト大統領だということは良識あるアメリカ人が当時気が付いていました。世界を共産化するために太平洋戦争が仕掛けられたことにも気が付いていました。ロスチャイルド家とウォーバーグ家のシオニスト運動を批判していました。男は家に帰って家庭を共産主義の脅威から守るべきだと、ルーズベルトに書簡を送っています。日本人も洗脳から覚めて太平洋戦争は仕掛けられたワナだと気が付いた人が増えてきます。今アメリカの左派ユダヤ人達はルーズベルト大統領の存在を歴史から消し去ろうとする工作を行っています。太平洋戦争のハリウッド映画に責任者のルーズベルト大統領がまったく登場しないのはそれを物語っています。



資料ポル・ジュン・ノ・ユダヤ人の歴史 上巻(徳間書店, 1999)より藤沢まとめ



太平洋戦争を始めた責任者は左派ユダヤ人大統領のフランクリン・D・ルーズベルト。目的は世界で最も強固な君主制を続けている日本の天皇制を抹消することであった。何百年も迫害されてきたユダヤ人にとってすべての君主制国家は倒すべき国家なのであった。



アメリカにユダヤ人が多く住んでいます。その数は本国のイスラエルよりも多い。最近はより高給がもらえるアメリカに移住する人も増えているといえます。

洗脳の仕組みを知る

■言葉は洗脳のマジックである

今の日本は巧妙にテレビや新聞や評論家や学者によって、ある方向に向かって導かれようとしていることに気が付いているでしょうか？ L G B T、男女同権、パワハラ、セクハラ、いじめ、移民差別、ギャンブル依存症、などなど毎日のようにテレビに流される言葉によって我々は洗脳されているのです。

昔は、使われていなかった言葉でしょう。次から次へと創造されていくこれらの言葉が、すべて被害者意識を広めるための言葉であることに気が付いていきますか？人と人を仲良くさせ、親密にする言葉ではなく、人と人を分断させる言葉ばかりがなぜ創造されていくのでしょうか？ 『分断させて統治せよ』という左翼の伝統的なやり方なわけです。最終的には、政治家と国民、皇族と国民、経営者と社員などを分断させて国家の力を削ぐというのが目的なわけです。

・物質主義で神や仏や慈愛を認めないのが左派ユダヤ

分からないように大衆を導くのが左派は非常に上手です。共産主義は物質主義で神霊を認めないサタニズム（悪魔信仰）です。しかし、ぼくとしていたら知らぬまにその思想に洗脳されていきます。たとえば、2019年8月23日のNHK番組の内容です。鳥が卵をだくのはどうしてか？という番組で、専門家が、卵は冷たいから身体を冷やしたい親鳥は冷却効果を狙って卵を利用してはいるだけ。愛情があるから卵を抱くわけではない。と断定していた。これが左派の心霊とか愛とか慈しみを否定する唯物主義の正体です。

生き物を、機械じかけのように論じたほうが、学会では専門家として評価されるわけです。学会そのものが、左派にのっとられているからね。測定器では、親子の愛情や慈しみというのは測定できないから科学にならないんだらうね。気持ち悪くて仕方ありません。

心理学者で有名なフロイトも左派ユダヤ人だった。赤ちゃんがお母さんのおっぱいを求めるのは性欲があるからだ。という理論を展開しました。親子の愛情とかを認めないのが恨みに満ちて屈折した左派思想なんですね。

アメリカではすべての学会が左派ユダヤに乗っ取られていると気が付いたトランプ大統領が、攻撃開始ののろしをあげました。日本も、左派の大学教授や専門家などがテレビに出演しています。ぼくとしていると心情が汚染されます。

・太陽神の国 わが日本

日本は太陽神の国。すべてのものを太陽のエネルギーで慈しむというのが国家の根源です。太古の昔は、日本には「愛」という言葉はありませんでした。「いとおしい」、「いつくしむ」という表現のほうが「愛している」よりも日本人にはピッタリくるのではないのでしょうか。こんな文化をもった日本には唯物主義の共産主義はまったくあいません。唯物主義を優れたものとして受け入れたのは、

インテリ達です。理論と理屈で武装して相手を議論で叩き潰すのが大好きなのがインテリです。

恨みと妬みと復讐とコンプレックスが左派思想の根っこにあります。幸せそうな家庭や中流階級が多い豊かな国を見れば怒りがわいてきて破壊したくなるようなひねくれた心情をもっています。だれがそんな共産主義を發明したのでしょうか？世界でもっとも嫌われ、迫害され、いじめられ、国をもてず、何千年も放浪した民族、それがユダヤ人です。そう、ユダヤ人が何千年にもわたる恨みをはらすために發明されたのが共産主義であり左派思想なのです。

最近は大衆も共産主義はトンデモナイ思想であることを知っています。まさか、中国共産党が世界を統一することで自分達が幸せになれると思っている日本人はいないでしょう。中国共産党が日本にちよつかい出してきたら、拒否するでしょう。だから、共産主義という言葉はもうプロパガンダには使えないから、

言葉を変えたわけです。驚くことなかれ、それがそれが資本主義と勘違いさせられているグローバリズムです。マネーの力で唯物的な統一世界を作ろうとしているのが、左派ユダヤ人です。

・グローバリズムの正体

彼らは巧妙です。一見すると弱い者の味方をするふりをしながら権力を集中させていきます。じゃあどうすればいいのか？正体を皆さんが見破ればいいだけです。トランプ大統領がなぜ「暴言」を言っても支持されるのか？それはアメリカ国民がグローバリズムの正体は共産主義だと見抜いたからです。左派ユダヤ人は国際金融資本であり、ウォール街を支配しています。ウォール街どころか、中央銀行まで支配し、自分達がドルの発行権利をもっているわけです。1913年にFRBつまりアメリカの中央銀行ができたときから、今日までアメリカ人は百年間も少数の左派ユダヤ人に国をのっとられていたことにやっと気がついたのです。

悪魔は正体がばれたら悪魔でいられなくなります。アメリカで起きていることは、伝統的な愛国心あるアメリカ人と金融（中央銀行、大銀行）と司法（裁判所の判事）と学会・アカデミズムと教育機関と大企業をのっとなってしまった少数（と言っても五百万人もいる）の左派ユダヤ人との闘いなのです。

・NHKの実体

日本のNHKをはじめとするメディア、新聞、学会ものつとられています。日本人はまだ寝ています。まるで税金のようにNHKから料金が徴収されるでしょう。そしてNHKから委託されてテレビのアンテナを探しまくっている徴収人を見てごらん下さい。ズルそうな顔をしています。まるでヨーロッパ中世の徴税人の左派ユダヤ人そのものです。

・トランプ大統領が日本に要求していること

自民党の議員の多くも、左派に汚染されてきた歴史的な流れが分かかっておらず、平気で国益を害することを言います。アメリカ人が覚醒したら、次は日本人が覚醒しないとなりません。トランプ大統領はそれを日本に要求しているのです。だから、日米安保を破棄すると言っているのです。

「自分の国くらい自分で守れ、それもできないなら、そんな国は知らん」ということです。いつまでも、憲法9条に自衛隊の記載がないから、自衛隊は違憲だという左派ユダヤに支配されているメディアや評論家をのさばらせているときではないのです。

・平成天皇が引退されたワケ

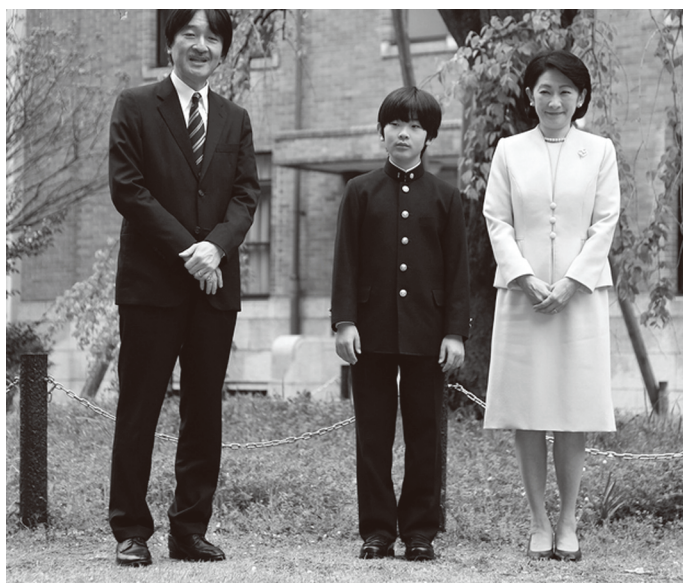
国民が覚醒しないから、平成天皇はあえて引退され上皇になられて自由な立場（憲法に規定がない）で動こうとされているわけです。勝手に皇室が動かれては困る左派ユダヤ人に支配されたメディアは、皇室と国民を分断させる工作を次から次へとやるはずで。すでに、もうやっていますね。

秋篠宮家のさまざまな出来事がそれ
です。眞子様も、逆ハニートラップに
ひっかかっているように思います。

平成28年8月8日に平成天皇が突
然ビデオ放映されました。8が並ん
でいますね。カバラ数も8です。な
ぜでしょう。日本の伝統的な精神は、
八百万やおよろずのかみの神の八であることを言いた
かったのではないでしょうか。天皇は
常にこんな形で日本の行く先を示唆さ
れているのに気がつきましょう。



平成28年8月8日のお言葉
(引退したいと表明)



秋篠宮家をめぐりいろいろな事件や報道の背後は？

陰のユダヤ人と陽のユダヤ人

■陰のユダヤ人と陽のユダヤ人

・オバマ元大統領までの歴史

ユダヤ人にも陰の人達と陽の人達がいることを知っておいたほうがいいでしょう。陰謀論が大好きな人達は陽のユダヤ人、つまり国際金融資本のことを世界の黒幕と言って批判しています。具体的には、ロスチャイルド家、ロックフェラー家などのことです。たしかに、1900年頃から、今の金融資本主義を作ったのは、彼らであることは歴史的な事実です。アメリカの中央銀行FRBを創立して国家を相手に金を貸す金融ビジネスをやりはじめたことはもう明らかになってきているし、彼らの自叙伝でも明らかにされています。もう公開情報になっていて、秘密でもなんでもありません。中央銀行を彼らが支配して、国家まで支配しようとするたくらみに真正面から戦ったアメリカの大統領が、暗殺されたり、暗殺されそうになったことも、もう多くの人を知っている事実です。

陽のユダヤ人達は、アメリカにおいては、百年かけて司法、政治、経済、メディア、金融などの中枢に入り込んできました。大統領をつくるキングメーカーとしてアメリカを自分達の都合の良いように動かしてきました。大統領になるための選挙運動を続けていくには何百億円もの資金が必要ですが、この資金を出せるのが陽のユダヤ人です。すくなくとも、オバマ前大統領までは、陽のユダヤ人の計画通りにアメリカを動かしてきたわけです。

・トランプ大統領から変わった

ところが、トランプ大統領はこの歴史を変えようとしています。大富豪であり70歳を超えて、あえて大変な仕事である大統領に挑んだのはなぜでしょう。愛国心のゆえです。「アメリカをアメリカ人の手に取り戻す」と叫んで大統領になったわけです。だれから取り戻すのでしょうか？もうお分かりですね。

・サタニズムにやられた左派ユダヤ人

陽のユダヤ人達は一体なぜ、こんなにも地球をまるごと買えるくらいの資金を欲しがり、なぜ権力を欲しがるのでしょうか。数千年も歴史を遡ると、紀元前の太古の時代、旧約聖書の神話の世界の話しになりますが、ユダヤ人はエジプトでは奴隷でした。それを解放して民族全体を率いてカナンの地（現在のイスラエル、パレスチナ付近）まで大移動させたのが、救世主のモーゼです。ですから、ユダヤ人にとってのメシアはモーゼであり、イエス・キリストではないのです。

ユダヤ人というのは、まとまらない民族なのでしょう。モーゼが奴隷状態を解放させて、エジプトからカナンの地まで大移動をする何十年もの間にも、多くの人が途中でモーゼについていくことを拒否してあちこちで土着したのです。カナンの地に定住したあとも、南北に分裂したり、他国に支配されたりしました。

7世紀から10世紀にかけて、ハザール帝国がカスピ海の北にできて、その国王がユダヤ教に改宗し国民全体がユダヤ教になったとされています。しかし、そこから分裂して、ユダヤの民はヨーロッパ各地に移動したとされています。各国に散らばったユダヤ人が自分の国を持てたのは2500年もあとの1948年のとき（今のイスラエル）でした。

11世紀の頃には、ユダヤ人といえば高利貸しのマネーだけを信じる民族だという評価がヨーロッパでは定着してしまいました。ユダヤ教では金利をとることを禁止しています。しかし、それは同胞からは金利をとってはいけないという極めてエゴ的なルールであり、異邦人からは高金利をとってもいいし、騙してもいいというルールなんです。このあたりが太陽神を信じる伝統的な日本人が好きになれない部分です。迫害されても仕方ないと感じます。

正統派ユダヤ教の人から見れば、異端ユダヤ教、悪魔教と言われるわけです。

自分達は虐げられてきたという被害者意識をもっていたり、社会に恨みを持っている連中は、ユダヤ教に改宗してユダヤ人になってマネーを追いかけはじめたわけです。最初は大衆を相手に高利貸しをしていた彼らも、汚れ仕事である税金の徴収を国王の代理としてやりはじめ、やがては国王に金を貸して利子をとるということまでやり始めました。国と国を戦わせると、金を借りにくるようになりますから、金の力で国を支配できることを学習してしまったわけです。

こういった陽的ユダヤ人を、アシユケナージ勢と呼ぶ学者もいます。現代の国際金融資本家の勢力です。

この頃には、こういったエゴの固まりである陽的ユダヤ人（世界に散らばり金融を支配する肌の白いマネー至上主義の人種）と、伝統的なユダヤ教を守る陰的なユダヤ人（パレスチナに住んでいる髪が黒く目も黒いアジア的人種）が明確に分かれてきたようです。伝統的な黒い目と黒い髪をもったアジア的ユダ

ヤ人を、セファラディーと呼ぶ学者もいます。

ユダヤ人とは？を定義するのが不可能くらい離散したり、世界の他の民族と混血になったりしていることを理解してください。学問上は、ユダヤ人とはユダヤ教徒のこととされていますが、現状では国籍、言語、人種の枠を超えた、一つの尺度だけでは定義しえない文化的集団としか言いようのないものとなっています。

・迫害されたユダヤ人の解放

17世紀から18世紀になると、ヨーロッパ各地に離散したユダヤ人は、迫害され始めます。とくに、ロシアではユダヤ人が住んでもいい居住区を決めるなど自由はありませんでした。ロシア革命がなぜ起こったのか？ユダヤ人解放のためです。だれがその運動にお金を出したのか？もちろん、アシケナージ勢である国際金融資本家達なんですね。つまり、アメリカや英国に住んでいる左

派ユダヤ人です。国家という枠組みで発想すると、アメリカとイギリスが、ロシア革命を支援し、共産革命を起こしたという説明になってしまい、混乱してしまいます。だから、国という枠組みを外さないと世界史は分からないのです。

ドイツでも、ハンガリーでも、ユダヤ人は迫害され続け、各国でユダヤ人襲撃が行われたことが引きがねとなり、古代に祖先が暮らしていたイスラエルの地に帰還してユダヤ人国家を作ろうとするシオニズム運動が起きたわけです。

アシケナージ勢は世界の金融だけではなく、国際連盟・国際連合などの国際機関を支配するようになっていた時期に、イスラエルの土地を買収してユダヤ人国家イスラエルを作ったわけです。1948年のことです。アメリカがずっとイスラエルを支援してきた理由が分かるでしょう。アメリカを支配していたのが左派ユダヤ人だからです。アメリカという国家は・・・という発想では理解できません。国家の枠を外しましょう。

紀元前16世紀の太古の時代（旧約聖書の神話の頃）からユダヤ人は、落ちていて自分の国をもったことがないわけです。分裂と離散を繰り返してきた歴史です。そういった歴史を生きてきたアシケナージ勢のユダヤ人はどういう思想を持つでしょうか？

国境をなくしてしまえ、国同士を仲たがいさせろ、一致団結した国家は敵である、分断させろ、というネガティブな思想を持っています。もともと落ち着いて定住することが許されなかったユダヤ人は、健全な国をもてる国家を妬み、恨んだはずです。だから、健全な国があると、入り込んで金融とメディアと学会と司法を支配し、その国の力を落としていくという工作をするわけです。

・左派ユダヤにのっとられたアメリカ

最初にターゲットにされたのが、アメリカなんですね。世界ではじめての中

中央銀行FRBを1913年に創立したのは、彼らであり、まんまと当時のウイルソン第28代の大統領と国会議員を操作してやったわけです。彼らが、ドルを発行する権利を得、金利を決定する権利を得たわけです。ここから、今の金融資本主義という名前の国境をなくし、モノもお金も、ヒトも自由に往来できる彼らが住みやすい世界をつくるためのONEワールド、統一世界をつくるプロジェクトが加速したわけです。つまり、グローバル主義ということなんです。

グローバル主義にとっては、愛国心とか、その国独自の文化とか、言語とかは邪魔です。なにが価値があつて、なにが良くて、なにが悪いかは、ONEワールドの頂点に立つ、自分達が決定することであるというエゴが隠されているのが、グローバル主義の闇です。

・左派ユダヤが作ったEU

EUつまり欧州連合を作ったのも、その流れです。統一マネーであるユーロ

をつくり、ヨーロッパならどの国でも自由に行き来できる理想国家のように見えますが、実際は国家を持たなかった彼らが住みやすいシステムを作ろうとしただけなんです。ヨーロッパのユーロを使う各国は、自分で紙幣を発行できる権限がないのです。EUという組織が紙幣発行の権利をもっていて、国は権限を奪われているわけです。まさに国際金融資本家達の支配におかれたということなんです。

このままいけばヨーロッパ全体が左派ユダヤに支配されてしまう。それに気が付いたからこそ、英国はEUから脱退するわけです。もちろん、その背後にいるのは英国の王室です。国際金融資本からマネーの支援を受けている政治家や、メディアの連中は、必死でEUからの脱退がいかんにかに英国にとって不利であるかを主張していますが、ヒステリックにこういった情報を流しているのは、ON Eワールドを目指していたアシュケナージ勢にとっては英国がEUから脱退することは大打撃だからです。

しかし、第2次メイ内閣の後継政権として成立したジョンソン内閣の主要ポストにはブレグジット（イギリスのEU離脱）強硬派を置く新内閣を発表していることから、もうこの流れは止められないでしょう。

フランス大統領のマクロンは、ロスチャイルドからの資金援助で大統領になった人です。ロスチャイルド & Cie 銀行で投資家として勤務していたことは公開情報からも分かることです。マクロンはルノー社の株式を20パーセントもっています。つまり、ルノーが日産自動車を手に入れようとした背後には、マクロン大統領とロスチャイルド家がいたと推理するのは簡単なことです。

・カルロス・ゴーンは左派ユダヤの番頭

その番頭に選ばれたのが、左派で国境という概念のない国際金融資本の番頭格であるカルロス・ゴーンだったわけです。そのカルロス・ゴーンが逮捕され、

あつという間にルノーからも解任されて無職になってしまいましたね。アシユケナージ勢つまり国際金融資本に対する日本勢の反撃ののろしだったと考えられるわけです。現在、フランス全土でマクロン退陣を求める激しいデモ、暴動、略奪に拡大していて、黄色いベスト運動と呼ばれています。この運動には、ユダヤ人の排除を求める声も大きいようです。

カルロス・ゴーンを経歴を見れば、まさにグローバル主義の典型的な生き方です。レバノン生まれで、ブラジルに移住し、大学からはフランスで生活し、ミシユ



ランの社長時代はアメリカに住んだこともあります。アラビア語とフランス語、英語、スペイン語、ポルトガル語を話し、日本語も少し話せるようで、国境のない人生を生きてきた人です。しかし、日本でやったことは、日産を利用して自分の懐を増やすことと、権力を見せつけることだけでした。

彼はガールフレンドのキャロル・ナハスト2016年に再婚したとき、同時に彼の60歳の誕生日祝いも兼ねて大結婚披露宴をベルサイユ宮殿の大トリアノン城で行なっています。彼の個人住居は6軒、東京、パリ、ベイルート、リオデジャネイロ、アムステルダム、ニューヨークにあり、購入費用は日産自動車に負担させています。また彼の乗るポルシェなども会社経費で購入させていると言われています。何十億という個人資産をもちながら、なぜ個人で使用する住宅や乗用車まで会社に負担させたのでしょうか？自分は才能のある選ばれた人物だからなにをやってもいいという左派ユダヤとまったく同じ思想をもっていたからです。日本の根源的な勢力は、それを叩いたわけです。

彼は、アシケナージ勢の国際金融資本にとっては使える番頭だったようです。しかし、日産の会長の座から引きずり降ろされた時から、雇い主であるマクロン大統領、さらには国際金融資本の勢力からもリストラされたということなんですね。

故郷をもてない人、故郷を愛せない人は、金銭に固執し権力にも固執するものです。故郷を持たなかったユダヤ人達も同じような心情でいることが容易に分かりますね。二千年以上も万世一系の天皇が続き、独自の文化を発展させてきた日本人から見れば、愛国心のない連中はどんなに権力とお金をもっていたとしても品がないと感じるはずですよ。逆に、権力もお金もないけども、愛国心のある人は品があると感じるはずですよ。社会的な地位とお金の権力には反発する日本人も、国全体に責任をもっている権威（権力ではない）には従うものです。

お金の力で、政治家を取り込み、メディアを支配し、新聞やテレビの内容を支配しても、他の外国のように簡単には人の心がグローバル化しないのが日本人だと信じたいものです。

・グローバル主義に染まった人はつまらない

ちよつと話題を変えます。筆者のタイ人妻の友人達は、小学校の頃からインターナショナルスクールに通い、海外の高校や大学を卒業している人が多いのですが、全員がタイの歴史や伝統文化に無関心であるどころか、タイ語の読み書きよりも英語や中国語のほうが楽という人も多いです。完全にグローバル化された心をもっていますが、幸せそうには見えません。心の中では、いつもお金・お金という声がしていて、海外旅行とか高級車とかコンドミニアムとか刹那的なレジャーや物質ばかりを追いかけているようにしかみえません。

タイ王国のために、働こうなんて誰も考えていません。仕事は、神事(かみごと)

であるという説明など、まったく理解できない連中です。こんなレベルだから、1997年のアジア通貨危機で、簡単に外資にやられてしまうわけです。タイ王国だけでなく、インドネシアと韓国もIMF管理下に入って国際金融資本の連中に食い荒らされてしまいました。民族としての実力がありません。フィリピンは打撃を受けたものの、耐えました。フィリピン人は愛国心が強く、民族としてのまとまりはタイや韓国やインドネシアよりも優れていると感じます。

・国家の枠組みを超えて世界を見る

これまでの説明で分かったと思うのですが、国家という枠組みを外さないとは世界は分からないのです。アメリカはけしからんとか、中国はけしからんとか、北朝鮮は横暴だとか、ロシアは信用できないとか、そういった思考を捨てないとなりません。国家という枠組みを外さないと、真実は見えてこないのです。

どういう人格の人が、その国のリーダーであるのか？リーダーの人格次第で、

国も行方も決まってしまうということですね。だから、国を論じる前に、その国のリーダーの人格を学んだほうがいいのです。トランプ大統領は愛国者ですから、愛国者のプーチンとは分かり合えているように見えます。

だからこそ、国際金融資本の配下にあるCNNを代表とする左派メディアは、トランプ大統領のロシアゲート事件をデッチあげようとしたわけです。アメリカとロシアが組んでしまえば、分断して統治するというONEワールドの計画が実現できないからです。

日本の安倍総理も愛国心があるからこそ、トランプ大統領やプーチンと分かり合える可能性があります。だから国際金融資本の配下にある左派メディアや財務省の一部が、モリ・カケ問題をスクープし執拗に報道するわけです。モリ・カケがいいとか悪いとかは議論しません。政治は51%の国益になるなら49%の犠牲を選択する世界だからです。森友学園は愛国心を育成する学園ですから、

安倍総理も応援しなかったのでしょうか。しかし、左派にそこを攻撃されたわけです。トランプ大統領とプーチン大統領と組んで大きく流れを変えようとしている大義のために小事を切り捨てたのでしょうか。

アメリカとロシアと日本が団結すれば、1913年のアメリカ中央銀行FRBを創立してから百年以上にわたってずっとやってきたグローバリズムという名の左派ユダヤによる世界統一構想を、ひっくり返すことができます。

サタン（悪魔）がサタンでなくなる日

ここからは筆者独自のビジョンになります。ある日突然頭にひらめいたビジョンです。ここまでユダヤ人の数千年の歴史を読まれた読者は、旧約聖書のサタンが地獄に落とされたサタンの物語りと陽の左派ユダヤ人が同じような歴史をもっていることに気が付かれたと思います。神の一番弟子であり最も有能だっ

たのがルシファーである天使長です。それが地獄に落とされて恨みつらみと被害者意識のかたまりになったわけです。左の写真のようにルシファーを題材とした絵画や象はみな能力はあつてスマートですが暗い顔をしています。人類で最も才能豊かなユダヤ人も同じです。自分の国さえ持てない放浪の民として何千年も暮らしてきたわけです。



では、神の望みはどこにあるのでしょうか？ 最も有能な人には最も大きな困

難が与えられるのは自然なことです。これまで金融を支配してきた左派ユダヤ人の心情が解放され恨みや妬みが消え、慈しみの心を持ち、これまで蓄財してきたマネーと隠ぺいしてきた技術を解放し、自由で明るい人類社会に貢献するようになれば、人類歴史は変わります。

おそらく、フリーエネルギーの技術が解放され電気代やガソリン代がいらぬ社会が実現できます。癌などの病気にならない本当の医学が解放されます。

ユダヤ人の先祖が何千年も前に移住し、そこで平和に暮らして土着したきたのが日本であるなら、日本こそが彼らを受け入れ恨みを解放できるただ一つの国かもしれないのです。我々日本人の人格が問われているときです。誰かを批判したり文句を言っているようなレベルなら、移住してきたユダヤ思想をもった外国人に食われてしまうでしょう。人間としての実力が問われているのです。

アメリカに住むユダヤ人の多くが弁護士や医者であるのはなぜでしょう？もちろん金持ちになれるというのが陽的な理由でしょう。しかしユダヤ人の長老は、もっと深い陰的な理由があると言っています。弁護士と医者という職業は、家庭の中の恥部をのぞける職業だからと言っています。つまり、夫と妻がエゴまるだしでケンカをし。子供が親の財産を狙って戦い、ギャンブルとアルコールづけの健康的でない生活をしているようなら、自分達ユダヤ人が支配してあげたほうがいいだろという気持ちになるからです。つまり、ユダヤ人こそが神から選ばれた選民だという意識を持てるようになるからです。

日本人として人間の実力が問われるという意味、理解して頂けましたか？

ユダヤ人の世界戦略

■陽のユダヤ人（左派）がどうやって世界史を動かしてきたのか？

・迫害され続けてきた歴史

左派ユダヤの悪口を言いたいわけではないので、ちょっとだけユダヤ人の立場から話しをしてみよう。中世のヨーロッパ、中近東など王族が国を支配する体制では、王族だけが富み、国民は搾取されるというのが常でした。ヨーロッパの王族達は、自分達の子孫だけが跡を継ぐのを良しとしません。それは、権力を持ちすぎると王族だけが富み、国民から反発されることを恐れているからです。それで、他国からときどき王を迎えているわけです。いわゆる国際結婚ですね。新参者の王だと権力が弱まるから、ガス抜きができるわけです。

1789年に起こったフランス革命は、そういった王族を国民が倒すという最初の革命であり、中心になったのは迫害されていたユダヤ人です。一度成功した

ユダヤ人は、他のヨーロッパの主な君主制を倒すことが任務となったわけですが、ユダヤ人というものがあから王という存在があるから、ユダヤ人は迫害を受けてきたという歴史があるため、国家はすべて転覆すべきというのがユダヤ人が発明したマルクス主義なわけですね。君主のいない国家を倒すのは容易ですが、君主のいる国家を倒すのは大事業です。それで、必死になってドイツ、ロシア、オーストリア、ハンガリーなどの君主制を次から次へと打倒していったわけですね。

・ロシア革命はユダヤ人解放が目的

さて、ソ連に話題を変えましょう。ソ連にいるユダヤ人が迫害を受けていたのは説明した通りです。すでにイギリスとアメリカで金融を支配し、政治を操っていたアッシュケナージはソ連にいるユダヤ人を解放しようとして起こしたのがロシア革命という名の共産革命です。

1904年の日露戦争では、アッシュケナージ勢が日本に資金を貸してくれま

した（日本銀行副総裁の高橋是清がロスチャイルド家から借りたわけです）が、その背景にはユダヤ人を解放する狙いもあったのだと思います。

大金持ちのユダヤ人は資本主義だと誤解している人も多いのですが、国境をなくし世界を一つにして自分達神から選ばれたエリートが世界を支配するのが摂理であるという考え方が根源にあります。この共産主義は完全な物質主義です。マルクスの資本論を読めば分かると思いますが、論理は完璧にみえますから日本でも大学生達が影響されたわけです。筆者が大学生の頃も、資



ロシア革命

本論を教える教授には多くの予算が割り当てられていました。ソ連が崩壊したあとは、共産主義はグローバリズムという名前に変わって世界を一つにしようとしたわけです。

共産主義は資本家と労働者の対立をあおっていて、まるで労働者の味方をするような理論ですが、現実是一部の大富豪のためにある思想です。中国共産党を見れば一目瞭然ですね。大衆から搾取するのが共産主義です。ユダヤ人を解放したあとのロシアでもそれは同じです。このあたりが悪魔的ですね。正体をばれないように正義の仮面をかぶっておきながら、内実はまったく逆なのですから。

・被害者に正義を主張させるのが左派

被害者を正義として権利を主張する論調は日本でも多くみられますが、共産主義的な悪魔の発想が隠されていますから注意しないと洗脳されてしまいます。正

義だから何をやってもいいということになり殺人や暴力も肯定することになっていきますから。ひねくれた歪んだ心の人が、共産主義に染まっていくわけです。悪魔の正体は、恨み、つらみ、不平、不満、批判、しつと、ねたみ、被害者意識の固まりであり、そうなのは自分のせいではなく社会や周囲のせいだという他己責任の思想です。自分の人生に自分で責任を持たない弱虫が共産主義に染まっていくわけです。

アメリカはとても愛国心あふれる人が多く、政府から余計な価値観を押し付けられることを嫌がる健全な国でしたから、アシケナーナージ勢にとってはこの健全さが邪魔になったわけです。彼らは自分達の価値観を受け入れる体制にアメリカを変えたかったわけです。

・官僚主義が共産主義

官僚が決めたことに黙って国民は従うという体制が彼らにとっては理想なわ

けです。中国のホームページを見ていたら、こんな絵がありました。

官僚主義の風刺絵



官僚達を育成するには学会を支配すればいいだけです。一流大学の教授達を自分達の親派で固めればあつという間に言うことを聞く官僚ができるからです。一流大学というのは、為政者にいいように使われるのは日本も同じでした。第二次世界大戦のあと、日本の精神構造を叩き潰すために愛国心のある教授たちや公務員は追放されてしまい、共産主義の思想をもった教授や公務員が優遇されたわけです。一生懸命に勉強して東大に入った学生は、左翼の先生に影響を受け、左翼的な思想をもった官僚になっていったわけです。

話しがずれてしまいましたが、アシケナージ勢はアメリカを弱体化させるためにソ連に共産革命を起こし、アメリカの核兵器の情報も渡していたわけです。ソ連が強くなれば、アメリカの力も相対的に弱くなると考えたわけです。アメリカが資本主義を具現化していると思っただら大間違いです。共産主義者である金融ユダヤに乗っ取られた国がアメリカだったのですから。トランプ大統領は、「アカ狩り」をやってそれを改革している最中なんです。

世界に散らばって商売をしてマネーの力ですべての国を支配しようとする勢力は、アシケナージの金融ユダヤと、華僑華人です。この2つの勢力は、国境がなく、愛国心がなく、各国の文化などを認めず、何が正しいか、何が正義か、どうすることが幸せなのか、は自分達エリートが決めて、大衆は自分達が決めた規範に従っていればいいという発想ですから、非常に良く似ています。

大衆には自由を与えないのが共産主義であり、グローバリズムなんですね。アホな大衆は、ルーチン作業をして家に帰ってビール飲んで、テレビみてスポーツや娯楽を楽しんでいればいいだろうという上から見下した思想なんです。

・ソ連崩壊後はユダヤ人に支配されそうになったロシアだが・・・

1991年にソ連が崩壊したあと、オルガルヒと呼ばれる新興勢力がロシアの天然資源を独占して、超大富豪が沢山生まれました。アシケナージ勢がオルガルヒを作ったわけです。ロシア革命で、共産化させてユダヤ人を解放し、次は民主的な体制に切り替えてロシアの天然資源を手に入れようとしたわけです。

そこに登場してきたのが愛国、心のかたまりのプーチン大統領なわけです。プーチンは民営化して資源をアシケナージ勢が支配する欧米のメジャーに売り飛ばそうとしていた新興企業をすべて国有化して対抗したわけです。ロシアの資源はロシア人のために使うと宣言したわけです。

中国を共産化したのも国際金融資本家達のアシケナージ勢です。中国の場合は、広い土地と安い人件費に目をつけ、工場を建て世界の製造基地として使おうとしたわけです。共産国家は、土地はすべてが共産党のものですから、工場を建てる土地探しも土地の売買も簡単にできるわけです。最近では、人件費が高騰してしまつて、国際金融資本家達からみても中国のメリットがなくなつてしまつたようで、資本を中国から逃がしています。

・国連に流れた共産主義者

ソ連が崩壊したあと、共産主義者達はどこに行つたのでしょうか。国連と中国とアメリカです。国連とのつながりは分かりにくいかもしれませんが、世界を一つの主義や思想で統一したいのが共産主義者達ですから、国連は彼らの使い勝手の良い道具なのです。アメリカに行つた連中はネオコンと呼ばれ戦争をしかけて革命を起こしたくてしかたない勢力で、さまざまな戦争をしかけてき

ました。

■被害者意識から出発した共産主義

何千年も自分の国を持たずに迫害されてきた恨みと被害者意識が生み出したのが、暴力革命を肯定する共産主義でした。オバマ大統領までのアメリカは、ベトナムや朝鮮半島やイラクなどに戦争をしかけ、体制転換を行ってきたでしょう。民主化は善であるという主張のもとに。内実は、あなたの国の幸せは、自分達が決めてあげる。という悪魔的な共産主義的な発想です。民主化という言葉で正体を隠しているのは、まさに悪魔的です。悪魔は常に正体を隠していますから、多くの人は言葉に騙されます。

・アメリカの建国の精神とは？

アメリカではもう100年間も、建国の精神が消滅しつつある現実があります。アメリカ建国の精神とは次のようなものでした。素晴らしい精神で日本の伝統と似ています。

・我々の権利は創造主によつて与えられたものであり、人から与えられるものではない。

・自由の権利は全知全能の神からの贈り物であり、この贈り物を放棄して奴隷になる権限は人間にはない。

・信仰の自由は政府よりも上にあり神から与えられたものである。

・我々の生活の質は物質的な成功ではなく霊的な成功で決まる。

・我々が神に受け入れられる奉仕は神の他の子供に良くすることである。

・アメリカは信仰者達の国である。それゆえ国教を決定しない。

・こういったアイデンティティを守るなら世界中からどんな人種でも受け入れる。

しかし、巧妙にこいつといった伝統的な精神を破壊してきたのが国際金融資本家の左派ユダヤ人です。オバマ大統領のときにどんなことが起こったのか例をあげてみると、

- ・建国の父は無宗教だった。それゆえに国教を定めなかった。
- ・2017年白人のいない日を大学では作らないといけないというデモが起きた。(人種の平等)
- ・2015年メデアは、白人の家族が白人の子供をもったらそれは白人優越主義になると批判した。
- ・移民は英語を話す必要はない。勉強する義務もない。多言語の学校を作るべきである。と主張する。
- ・メキシコ料理の移動販売車のオーナーがメキシコ文化を盗用したという理由で廃業させられた。

- ・ハロウィンではデイズニーのモアナの衣装はポリネシア文化の盗用になるから着るべきではない。
- ・学校で教師が祈りをささげるとは憲法に違反するという最高裁の判決が出た。
- ・学校ではモーゼの十戒を展示してはいけないという最高裁の判決が出た。
- ・学校では黙祷の時間をもうけることは憲法違反であるという最高裁の判決が出た。
- ・官庁ではキリストの降誕をシーンを描いた絵を飾ってはいけないという判決が出た。
- ・公的な老人ホームでは、政府の建物なので祈りも宗教的音楽も禁止という判決が出た。
- ・海軍の従軍牧師がキリスト教的な牧会をしたら憲法違反であると警察に捜査された。

如何でしょう。左派ユダヤ人達が司法（裁判所）と学会（大学教授）をのつとつてしまったことが分かるでしょう。宗教と神霊の否定が世俗的エリート（実際は頭でっかちなAIロボット人間）の証しとされたわけです。一般のアメリカ人から自由を制限し自由は独裁的な官僚（国際金融資本家の影響を受けた共産主義的思想の人）が決めるという体制に変化してきたことがわかるでしょう。

・日本も共産化されている

共産主義的な発想をよく理解してくださいね。頭でっかち人間は日本にもたくさんいるので。古い研究家や古いマニアの多くは共産主義的思想に染まっている人が多いです。頭でっかちの人は、愛国心がありません。国のために自分を奮い立たせて生きようという気持ちがありません。

日本もアメリカと同じような状況にあります。学校で君が代を歌ったら問題になるし、国旗に敬礼をするのは違憲だというおかしな左派の人達が教育会を

のっとなっていきますね。戦後、GHQが日本の伝統的な精神を破壊しようとして、メディアをのっとり、学会をのっとり、司法をのっつたわけですが、背後にいたのは国際金融資本家の左派ユダヤ人であることが分かるでしょう。日本もアメリカも、乗っ取られてきたわけです。

アメリカにおいては、オバマ大統領までは完全にのっつられていました。LGBTの人を差別するなどということから、レストランや公共のトイレには男女別は廃止されました。どっちを利用するのも自由にさせるいう左派の正義とはこういう常識で考えれば吐き気がするような正義なんですね。まさに人類を破壊させる悪魔的思想です。トランプ大統領は、即刻この法案を廃止させました。こういう行動のあげあしをとって、トランプ大統領は女性を差別していると左派ユダヤにのっつられたCNNニュースは繰り返し叫ぶわけです。

男女同権とかウーマンリブとかLGBTとか左派ユダヤ人は差別用語を次か

ら次へと創造します。差別用語を作れば、それまでは平等だったものも区別される結果的に差別が起こり、弱者を救えという正義から、普通の人々が住みにくくなるわけです。

・ウォール街のアメリカ人はアメリカ人ではないと叫ぶ

伝統的な文化を破壊されたアメリカ人は、ニューヨークのウォール街を敵視してきたわけです。筆者も馬の売買でアメリカに行ったとき、ウォール街の連中は、アメリカ人じゃないという声を、保守的なオクラホマやテキサスの牧場主からは良く聞かされました。



アメリカの建国の父達



LGBT の権利を主張する人達

中国共産党はマルクス主義だが
・
・
・

■ 中国共産党はもう古い



- ・時代遅れのマルクス主義を主張する習近平
- 2018年の末の習近平国家主席の演説を紹介してみましょう。
- ・共産党が一切を指導しその指導を不断に強化していく。
- ・マルクス主義の指導的地位を堅持し実践し理論のイノベーションを推進していく。
- ・現代のマルクス主義を発展させることは現代の中国共産党の歴史的な責任だ。
- ・歴史的唯物主義の世界観と方法論を広めていく。

こんな内容です。まるで、ソ連全盛時代のコピー・ペーストです。もう完全に中国共産党は終わっています。若い人達がこんな演説を聞いて賛同するわけありません。金をためて海外に脱出する人があとを絶たないわけです。

ちよつと話しがずれませんが、日本の税務署も同じです。税務署が一切を指導し税務署員があなたが使ってもいい経費かどうかを決める権限があると言っているのですから。完全に左翼的発想です。

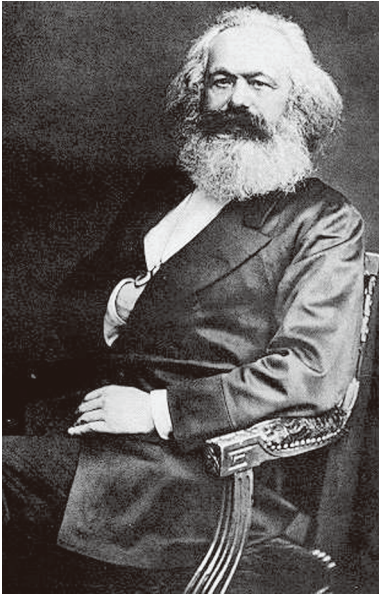
すこし言い過ぎかもしれませんが、習近平国家主席は頭が良くないと思います。なぜ、こんな程度の人物が競争の厳しい中国共産党組織で登りつめたのか？不思議です。党内の序列が370番だった彼が、10年間で6位にまで出世したのは、なぜでしょう？中国ではポジションはお金で買うという伝統があります。国際金融資本家達が、スポンサーになつていたはずですが。

2016年に世界の富裕層がタックスヘイブンを使った資産隠しが暴露されました。パナマ文書というものです。そのリストのなかに習一族の会社も記載されています。国際金融資本家達はアメリカではキングメーカーとして自分達に都合の良い大統領（ブッシュ親子、クリントン、オバマはその代表）をつくるようになっていましたが、そのままの手法を中国にも使ったと推測されます。

中華人民共和国の成立そのものが、左派のユダヤ人によってつくられたわけです。ポーランド、ウクライナ、ロシアから迫害されて離散したユダヤ人がアメリカで勢力をのびし、彼らの一部が中国に派遣されて中華人民共和国を作ったわけです。ロシア革命のときと同じですね。ロシアは、愛国心のあるロシア正教の信者であるプーチン大統領の出現で徹底して国際金融資本家達に応戦していますから、もう操作できません。

現実の中国共産党は、一族で財閥化して銀行や企業や軍の企業（ファーウェイなど）まで牛耳っています。ファーウェイの背後にはイギリスがいるという報道もありますが、どこまでそれが真実なのかは、これから起こってくる出来事を見れば分かることです。

いづれにしても時代遅れのマルクス主義を實現すると主張するレベルの中国共産党がこのまま発展することはありえません。



ドイツに住んだユダヤ人のマルクス

2016年イギリスでエリザベス女王の90歳のお祝いをする園遊会で、女王は、習近平達はとても「失礼」な存在だと語ったのです。英国を愛する勢力の中国共産党に対する宣戦布告です。

・古代国家「周」を作った民族

今の漢民族が支配する中国の前の時代、紀元前の時代は周という刑法のない国家が存在していました。この周の王が文王といって、文王八卦（占い）を發明した人です。人類初の理想国家と言われています。この周と言う国を作った民族が中国の南部にまだ存在しているといえます。彼らが立ち上がる時が中国が変わるときだと思っています。

・中国はこのままだと孤立するしかない

メデアは一時、G20ではなくG2つまり、アメリカと中国こそが世界の

リーダーだと騒いでいました。これはもうお分かりでしょう。アメリカの国際金融資本家と彼らが作り上げた拝金主義で物質主義の中国共産党指導者が世界のリーダーだというプロパガンダです。

国と国との関係のように見せているだけで、実際は左派ユダヤ人が統一国家をつくるぞということなんです。だから国家の枠で世界をみても分からない、人単位で世界を見ないと分からないのです。各国のリーダーがどんな人柄でどういった育ち方をしてくて、どういった思想をもっているかを見ないと分からないのです。

中国共産党の幹部達の子女の多くは、アメリカの有名大学を卒業し、国際金融資本つまり、ゴールドマン・サックス、JPモルガン銀行、クレディ・スイス銀行、シティ銀行、ドイツ銀行といった金融機関で働き、国家を相手に巨額のマネーを得たり、株価を上げたり下げたりして巨額の利を得るノウハウを得てきました。

政治と企業が一体化している中国では、そんなノウハウで急激に成長した企業も出てきました。

江沢民の孫といわれる江志成が起こしたアリババなどがその代表例ですが、金と権力が大好きな彼らは、いつまでも国際金融資本の配下でいるのではなく、自分達がそうなるうと対抗勢力になってきたわけです。中国は、中国共産党による世界統一国家を目指し、国家という概念をもたない左派ユダヤ人達と世界の覇権をめぐる争うようになってきたわけです。

ユダヤのアシケナージ勢と華橋の戦いというわけです。これまでアメリカを支配してきたユダヤのアシケナージ勢は、自分達が作った手下にかみつかれそうになって、中国をしめつけたいと思っています。今のトランプ大統領も中国をしめつけたいと思っています。トランプ大統領は、中国からの不法移民を排除し、中国から工場を取戻しアメリカ国内で雇用を生み出したいわけです。

だから、今現在、中国は孤立しています。なにをやっても、他国から協力を得られることはありません。

アメリカの議会は2019年3月に、現在の中国の危険に関する委員会（CPDC）を設立しました。共産主義者が、政治、軍隊、企業、学会、メディアに浸透している状況を放置しないと決めたわけです。赤狩りと言ってもいいでしょう。

・中国の海外支援はマネーロンダリング

中国はアフリカや後進国に莫大なお金を貸し付けて、支配しようとしています。港や空港や道路の建設を請け負い、労働者まで中国から派遣し労働者の給与は中国の元で払いますから、中国の財政はいたみません。しかし、貸し付けたお金はドルで返せといえます。ドルで返済できない場合は、建設した港や空港を民営化してのっとるわけです。スリランカの港はすでに中国が運営権を持

ちました。空港の運営権もそのうち中国にわたるでしょう。左派ユダヤは、モノとカネを地球規模で動かす統一世界を実現しようとしてきましたが、中国共産党はこの上にヒトまで世界に送り込んでいるわけです。

中国のアフリカや後進国の援助は、紙くず同然の元を、ドルに変えるマネーロンダリングと指摘するのは元外交官の馬淵睦夫氏です。

国際金融資本家達は、中国共産党による支配を終わらせる工作をするはずで、懲りずに巨大な市場がある中国を別な方法で支配しようとするはずです。ロシア革命を起こしたり、北朝鮮を作ったり、ベトナムを南北に分裂させたり、いろんな工作を百年以上にわたってやってきたわけですが、基本は分断させる工作からスタートします。

国際金融資本家達は日本もそのターゲットにしています。もし天皇家と国民が

分断されるようなら、その時点で日本は歴史の終了です。精神武装をしないと生き残れないのが今です。政治家のつまらないスキャンダル（酒・女・金）に心を動かされてはいけません。政治家は清廉潔白でなくもいいのです。愛国心のある人はだれか？を皆さんが見抜かないとなりません。

中国も日本を狙っていますよ。アメリカと対抗している以上、落とせそうな相手は日本だと思っっているでしょう。チャイナマネーでどれだけの政治家やメディアが買収されているのでしょうか。愛国心のある政治家やメディアや芸能人を皆さんが見抜かないとなりません。

憲法9条を変えるのはダメというメディアばかりですが、平和を主張する勢力ほど戦争を実は望んでいるという戦法は共産党のやり方です。政治の活動家に平和を主張させ、テレビに出していれば、日本は弱くなると分かかっていて、やっているんですよ。活動家にマネーをわたし、テレビ局にマネーをわたし、憲法

9条反対という雰囲気を繰り返して放映するというのは、まさに共産主義的な洗脳のやり方です。

アホみたいな議論も繰り返して耳にすると、それが真実のように思ってしまうという人間の脳の癖を知り尽くした工作です。ぞつとするほど悪魔的ですが、正体を知れば、悪魔は悪魔でいられません。

アホみたいな占い理論でも、何十年もそればかりを繰り返していると、真実のように思ってしまうのと同じです。滴天髄、窮通宝鑑といった原書はすべて中国からもたらされたものです。難しそうな理論が満載されているから騙されませんが、インチキです。マルクスの資本論も難しそうな理論で大学で優秀な学生がこぞって学びましたが、インチキ経済学であったことはもう歴史の事実です。占いに関心がある皆さんなら、今の世界で起こっていること、今の日本が狙われているという真実を見抜く洞察力があるはずですよ。

・共産主義者は自然界に学べ

共産主義者はもつと素直に自然の営みを学んだほうがいい。すべての動物・植物は共存していて美しいバランスを保っています。太陽系だって、美しいバランスを保っています。もし、月が月でいることを放棄したら地球は滅亡します。もし、太陽がエネルギーを燃やすのは損だと言えば太陽系は滅亡します。それぞれが、与えられた役目をまっとうする姿が宇宙のシステムです。愛国心がなく、自国を公害をまきちらす工場を無尽蔵に建て金もうけをして、美しい自然のあるカナダに移住するというエゴな気持ちがある以上、左派は世界の嫌われ者です。

中国共産党が消滅し、愛国心のあるグループが出現すれば、人類の歴史は変わるでしょう。すでに、アメリカはトランプ大統領の出現で転換しました。ロシアもプーチン大統領の出現で転換しました。日本はまだぐずついています。北朝鮮は断末魔をあげています。

国際金融資本家の左派ユダヤ人は、過去百年間やってきた歴史が暴露されて、自分達が追放されるかもしれないと恐れています。

国という枠組みではなく、人を見ないと世界は分からないということが理解できたと思います。



1945年のアウシュビッツ・ビルケナウ強制収容所にいるユダヤ人達

ソビエトと北朝鮮を支配したユダヤ人

■ソビエトは左派のユダヤ人にとられた社会

7世紀から8世紀にハザール王国に住んでいたユダヤ人が、国の滅亡とともにヨーロッパ各地に離散し、ソ連にも多くのユダヤ人が住むようになったのですが迫害されていたわけです。それでユダヤ人の解放という正義の錦を掲げて起こした革命がロシア共産革命だったわけです。誰が得したのか？ ロマノフ王朝が保有していた莫大な資産を奪い取った左派のユダヤ人達、すなわち欧米に住んでいた国際金融資本家なんですね。

ロシア革命のスポンサーは欧米に住む、国際金融資本家の左派ユダヤ人だったわけです。ロシア革命が成功におわったあと、アメリカ在住のユダヤ人をロシアにひきつけてやってきました。私有財産の禁止という共産主義の号令のもと、ロマノフ王朝の資産を奪い、民衆がもっていたゴールドも奪ったわけです。

革命家達は、革命のために莫大な借金をしていたので、王朝と民衆から奪った資産は返済にまわしたわけです。

革命をしたい人達にお金を貸し付け、革命が成功したら私有財産禁止という主義のもと大衆から資産を強奪し、革命家からは利子をつけてお金を返済させるというやりかたは、国際金融資本のいつものやり方です。

1917年のロシア革命で共産化したソ連ですが、およそ70年後の1991年に崩壊しました。そこで再



当時のヨーロッパのユダヤ人のイメージは金貸し業

び金融資本家達は、今度は民主化を扇動したわけです。グローバリズムという正義の御旗のもとに。オリガルヒといわれる新興企業の勢力の登場です。しかし、この新興勢力を支配していたのが左派ユダヤ人達でした。

民間企業になったことをいいことに、巨大な富（ロシアの資源）を独占するようになり、マネーの力で新聞やテレビを支配し、政治に関与するようになったわけです。権力を増大させた彼らは、ロシアの天然資源を独占している企業の株式を国際金融資本家に売ろうとしたわけです。それを阻止して、再び資源を採掘する企業を国営化したのが愛国心のあるプーチン大統領なのです。

共産主義が形を変えてより巧妙になった主義がグローバリズムなわけです。左派ユダヤ人は、悪魔的に頭がいいですね。かつては「マルクス主義」を發明して世界を共産化して富を独占しようとし、それがうまくいかなくなると、今度「はグローバリズム」を發明して、再び富を独占しようとしたわけです。

共産主義もグローバリズムも左派ユダヤ人が世界の富を独占し、統一国家をつくるためのイデオロギーであることが分かったでしょう。筆者が大学生だった40〜50年前は、インテリ達はマルクス主義を大学で勉強し、最近ではグローバリズムという現代経済学を大学では勉強させられるわけです。

こうやってアカデミーを利用して優秀な人達を、左派ユダヤの思想に染めていくわけです。左派ユダヤに染まった優秀な人（愛国心が削がれた人）が、銀行、証券会社、新聞社、テレビ局、出版社、電通などの広告会社、国家公務員に就職して偉くなつていくわけです。

・愛国者プーチン大統領の登場

このシステムを完全に理解し修正しようとしているのが、ロシアのプーチン大統領であり、アメリカのトランプ大統領です。二人の共通点は伝統的な価値観、

つまり愛国精神を重視するということです。

古いシステムのまま行こうとしているのが中国共産党の習近平です。中国共産党には愛国心という「慈しみ」はありません。中国で金を稼いだら、マカオと香港でマネーロンダリングして外貨に換えて美しいカナダやオーストラリアに移住するというエゴまるだしの連中です。

・北朝鮮はどうなるか？

悩んでいるのが北朝鮮の金正恩です。今まで支援してくれていた国際金融資本が支援をストップしたからです。おそらく、トランプ大統領が止めさせたのでしよう。金正恩は北朝鮮を愛しているか？といえば他に受け入れてくれる国がないから逃げることもできないという立場でしょう。スイスに留学していた彼は、先進国の快適な生活環境を知っています。

共産主義を捨て体制を転換するなら中国に代わる世界の工場として生まれ変わることもできるでしょう。北極圏のあるロシアの島を金正恩が手にいれたという情報もあります。どうにもならなくなったら、今まで蓄財した資金をそこにもっていったって、一族が暮らせる拠点を作ろうとしているのかもしれない。自分だけのことを考えるのか、それとも北朝鮮の民のことを一番に考えるのか？で彼の運命は決定されるでしょう。

・韓国はどうなるか？

韓国の文在寅は、日本で人権派弁護士をやっていた左派です。両親とも北朝鮮からの脱北者であり、韓国では労働者として働いていたわけですから、生い立ちをみても貧乏です。授業料が払えずに学校から追い出されたこともあったようです。大学受験にも失敗していて大きなコンプレックスがある人で、それを克服できていないようです。つまり、子供の頃からの恨みや妬みがあつて、「慈しみの心」がある人物ではありません。恨みや妬みが心にあると、左翼思想のワ

ナにはまっています。だから、北朝鮮にすり寄っていくわけです。人格的には、一つの国を率いていく器ではありません。自分自身の中に巣食う、コンプレックスを認め人としての実力なさを認めれば、言動も変わってくることでしょう。

我々が学校で教えられる金融資本主義と共産主義という対立の構図は、まったく正しくないことが理解できたと思います。どちらも国際金融資本家の左派ユダヤ人が作成したものです。彼らのやり方は常に、分断させて統治せよという卑劣なやり方です。

米ソの冷戦そのものが彼らによって操作されたものだったのです。目的は健全な精神をもった米国の弱体化です。

1920年のソ連政府に占めるユダヤ人の比率をみると、新聞記者の100%がユダヤ人、社会委員会の100%がユダヤ人、司法委員会の95%がユダヤ人、

財務委員会の80%がユダヤ人というありさまでした。この情報は、「日本人に謝りたい あるユダヤ人の懺悔」という書籍に記載されています。ユダヤ人が支配する国がソ連邦だったわけです。

この書籍は、東西冷戦最中の1979年に発刊された奇跡の本で、中古本が1万円以上の高値で取引されています。この本を読めば、当時ソ連を信奉してやまない日本の左翼とは、ユダヤ思想の亜流であることがばれてしまいます。本書を読めば、日本の真髄である「君・民・一・体」こそ、最先端の民主主義体制であることに誇りを持てるはずです。

さらには、戦後日本を占領したアメリカといいGHQといい、その中核はユダヤ人であることが理解できます。

この書籍を書いたモルデカイ・モーゼの経歴を解説してみましょう。 1907

年ウクライナのおデッサ生まれ。父親は哲学者で革命家、ロシア革命では指導的役割を果たした人です。レーニン没後ソ連におけるユダヤ権力の将来に見切りをつけた父親と共にドイツへ亡命。独ソ不可侵条約が結ばれると、その本質がユダヤ勢力の抑圧にあることを看破し、ハルビンを経て上海に亡命。「サツスン財閥」の顧問となり、日本の国体、神道、軍事力の研究に従事。1941年米国へ亡命、ルーズベルト等のニューディール派のブレイントラストとして活躍。1943年頃から対日戦後処理の立案にも参画。戦後十数回来日した。バリバリのユダヤ人左派であり、ユダヤ人は選民であり世界政府をつくるために、伝統的な日本の文化を破壊するために工作をしてきた本人が、懺悔をしている本だと言えます。

・共産主義の運営元はロンドンとニューヨーク

共産主義はソ連や中国で運営されているのではないのです。ロンドン、ニューヨークにいる国際金融資本家と、ユダヤ左派に支配されているワシントンの政

治家によって運営されているわけです。

ロシア革命は暴力という手法を使ったユダヤ左派の統一世界実現の実験だったわけですが、それは70年間やってみてうまくいかなかった。それで、冷戦を終わりにして、形を変えたグローバリズムという思想で再び統一世界を目指そうとしてきたわけです。しかし、それもアメリカ建国精神を重んじるトランプ大統領、ロシア正教を重んじるプーチン大統領の登場によってうまくいかなくなってきたわけです。

本当は、それに君民一体という古神道の教えを実現する世界で最も優れている民主主義を目指して日本も積極的に参加しなければならぬわけです。プーチン大統領とトランプ大統領と上皇后が生きている間にやらないとなりません。残された時間は少ないのです。2019年、2020年くらいが勝負のときです。

・ユダヤ左派の言う統一世界とは？

ユダヤ左派のいう統一世界とは、0・1%の支配層（選民であるユダヤ人）と、99・9%の被支配層という世界です。おそらく中央銀行は世界で1つだけにしたいでしょう。EUの通貨であるユーロは実際にそうなっていますね。ユーロ導入によってドイツだけが強くなり、フランス、イタリア、ギリシヤは継続的に悪化していった、ついにはギリシヤ危機ということになってしまったわけです。

自国通貨を維持しているのはイギリス、スウェーデン、ポーランド、ハンガリーなど9カ国ですが、これらの国は堅調です。通貨を統一すれば、経済の強いところが一人勝ちになるわけです。弱肉強食の世界になるわけです。まさに左派ユダヤ人が好む世界です。

グローバル主義というのは、左派ユダヤ人のめざす超格差社会を実現する思

想だということがわかるでしょう。

君民一体という天皇も民と一緒にであるという日本人は、左派ユダヤのグローバリズムは受け入れることができません。海外に工場を作っても搾取すればいいという考えはありません。従業員の雇用を確保し給与を払いその国が豊かになる手伝いをするというのが基本です。

日本では天皇も田植えをし稲刈りをしているでしょう。欧米や他のアジアの王達はたとえ趣味でもそんなことをしません。天皇の仕事は、民の為に祈ることです。民のために国をどう運営していけばいいのか？を毎日祈ることが仕事なのです。それで日本の神から降りてきた内容があれば、自分は直接に民を治めるのではなく政治家に伝えるというわけです。

・追いつめられる左派ユダヤ人

ユダヤ左派の人達は、もう自分達の勝手な理想が実現できない時代になってきたことに気が付いています。イギリスが力づくでEUを脱退するのはその象徴です。イギリスはイギリスの伝統に従ってやる。EU全体を一つの通貨と一つの思想でまとめるという統一世界には関与しないという決意表明です。イギリスが発明した、タックスヘイブンという租税回避地の仕組みを破棄しようとしているのも国際金融資本家達との決別の証しです。スターバックス、アマゾンやグーグルといったグローバル企業が英国でまともに税金を払っていないとする動きをみても、国際金融資本家達の支配からイギリスは卒業しようとしているわけです。もちろん、そこには英国女王の存在があるわけです。

■朝鮮半島を南北に分断させたのはだれ？

1950年の朝鮮戦争は、アメリカが北朝鮮の金日成を刺激して起こした戦争です。当時の大統領は、北朝鮮が韓国に侵攻してもアメリカは関与しないという発表をした直後に、北朝鮮は南に攻めてきた現実をどうとらえればいいのでしょうか。

ニクソン元アメリカ大統領は、「朝鮮戦争にアメリカが参戦した理由は、日本の共産化を阻止することだ」と言っていますが、本当でしょうか。ダグラス・マッカーサーは回顧録で、鴨緑江の橋を叩く軍事作戦を遂行する許可をアメリカ本国に要求したが、本国は英国の許可がないから待てと指示された上に、敵に計画が漏れてしまって、多くの兵士が無駄死にしたと書いています。さらには蒋介石も国連軍に参加して、中共軍と戦いたいという申し出をトルーマン大統領に許可をもとめたが、却下されたと書いています。

トルーマン元大統領の下にいた国防長官が、左派のジョージ・マーシャルです。

国務長官のデイン・アチソンは韓国はアメリカの防衛線の外にあると発言していました。左派ユダヤがのっとったアメリカは、朝鮮戦争に勝つ気持ちが最初からなかったわけです。それを知らないのはマッカーサーを中心とする現場の兵士達だったのです。

朝鮮戦争は、アメリカが共産主義を抑えるために起こした戦争ではなく、左派ユダヤ人が北朝鮮という共産国家を作るために起こした戦争だったわけです。

・スポンサーがいなくなった北朝鮮

つまり、北朝鮮のスポンサーは、国際金融資本家達だったわけです。実際、北朝鮮は、世界の裏金を運用するフ・ア・ン・ド・国・家として成り立ってきたわけです。国際金融資本家達にお金を世話された政治家達も北朝鮮を利用していたはずで、日本の税務調査がおよばない世界一安全な資産の隠し場所ですから。

トランプ大統領になってからは、この体制が崩れ始めています。国際金融資本

家達がアメリカの青年達を、ベトナム戦争で殺し、朝鮮戦争で殺したと見抜いているからです。国際金融資本家達は、北朝鮮のスポンサーの役を降りたのでしよう。だから、金正恩はあわてて、北京に行ったり、ロシアに行ったり、アメリカと会談するようになったわけです。追いつめられているので、ミサイルを頻繁に打ち上げたりするわけです。

金正恩が戦略家だとか、アメリカと対等に交渉しているとか、そんな報道をするNHKは完全に左派ユダヤにのっとられています。アメリカが本気になれば24時間で金王朝は崩壊します。他国を頼らず、他国の金をあてにせず、自国民のために働けという真意を金正恩が理解すれば、いい方向に行くでしょう。トランプ大統領はそれを待っているような気がします。



スポンサーがいなくなって困っている金正恩



日本を批判するだけじゃ韓国はダメになる文在寅

追いつめられるディープステート

■世界を支配してきたディープステートだが・・・

トランプ大統領が就任演説で、ディープステート(影の国家)という言葉を使ったことは革命的な事件でした。影の国家がアメリカを支配してアメリカを墮落させたと言言したのですから。

・FRBの創立が起点

1913年にアメリカ連邦準備制度理事会(FRB)という名前の中央銀行をこつそりと創立したのが、ロスチャイルド銀行、ロックフェラー銀行、ゴールドマン・サックスやクーン・ローブ銀行など英米の国際金融資本家達です。FRBは紙幣を発行できる権利をもっています。金利を決定する権利までもっています。紙幣を発行するだけで印刷代以外は利益です。

さらにアメリカが発行した国債を買い取って借金の債権者になることで、さらに儲かる。アメリカ政府は利子をのせてFRBに借金を返さないといけないのですが、税金だけで返せるわけではなく、無期限に借金地獄に陥るわけです。国際金融資本家達は、まさに無から有を産むマジックのようなシステムを作り出したわけです。

市中の銀行は、庶民にお金を貸すと同時に、中央銀行から同額のお金が降りてくるのですが、これを信用創造と言います。お金の量が無限に増えていくシステムですからモノの値段が毎年のように上昇していくわけです。



民間銀行であるFRBが通貨を発行できるというのは、どう考えてもインチキです。これに挑戦した大統領もいました。第7代のジャクソン大統領は暗殺未遂、第16代のリンカーン大統領は暗殺、第20代ガーフィールド大統領は暗殺、第35代ケネディ大統領は暗殺、第40代レーガン大統領は暗殺未遂ということなんですね。トランプ大統領は馬鹿な振りをしている狡猾さがあります。

まさに国際金融資本家が司法（裁判所、警察）も学会もメディア（新聞、テレビ）も、そして政治ものごとってしまったので、大統領といえどもFRBを国家の手に取り戻せないわけです。とくにジャクソン大統領は、「中央銀行の株は外国人が所有している。アメリカに結びついていないアメリカの中央銀行は我々の自由と独立を侵そうとしている」と真正面から戦いを挑みました。

・学会をのつとるといふことは医療を支配すること

さらっと書きましたが学会をのつとるといふことは、医療ものつとるといふ

ことなのです。大学生が大学の医学部で勉強する西洋医学は薬を与えたり、臓器を切ったりはったりする対処療法医学です。病気を根本から直そうとする医学は大学では教えません。つまり、薬を製造する企業のために医学部があるといっても過言ではないのです。

たとえば、筆者は緑内障ですが症状を進行させないための薬があるだけで、その薬をやめれば悪化するから死ぬまで薬を服用するしかありません。緑内障の本当の原因は分かっているのです。分かっている研究者がいても学会で発表できないわけです。

前立腺肥大も同じで尿道をふくらませる薬を死ぬまで服用するしかないと言われます。肥大した前立腺は薬では治らないと言われます。高血圧も、効く薬はあるものの死ぬまで服



用しないといけないと言われます。

根本から病気を治すという気持ちがあるで西洋医学にはないのです。こういう学会にした背景は、製薬会社と病院の利益です。背後に、ディープステート（影の国家）があるということはもう明らかなのです。

小保方さんが、「それでもSTAP細胞はあります」と叫んだ事件がありました。だが、自殺者を出すなどとても不可解な事件でしたね。小保方さんの発見した内容は、わかりやすく言えば、『食が血となり血が肉となる』という太古の昔からの教えの現象を、たまたま試験管の中で再現しただけなんです。



食べ物が赤血球になり赤血球が細胞になる。赤血球の母親は誰なのか？今の医学では教えませんが、赤血球の母親は食べ物なんです。そして、細胞は細胞から生まれるのじゃなくて、赤血球から生まれると太古から言われているわけです。これが試験管で再現できれば、癌治療も劇的に変わってくるはず。癌細胞を作るのは赤血球だから、赤血球を健康にすればいい。赤血球は食べ物から作られるから、食べ物を変え、消化器官を健康にすれば健康な赤血球になり癌が治るわけです。

今の医療は癌細胞を毒薬で叩け、放射線で焼き殺せ、と乱暴なものです。小保方さんを追放したのは、メディア、学会を支配している日本のディープステートであることはもう想像がつくでしょう。

・金融の本領を無視した現代経済学はフェイク

ディープステートが発明した錬金術の金融資本主義が現代経済学と呼ばれているものですが、インチキ経済学です。世界中の全ての大学で教える経済学はインチキなんですね。国際金融資本家達が発明した錬金術をベースとしたものなんですから。世界支配をたくらむ左派のユダヤ人が作り出したこんなシステムを勉強するのが優秀な人なんですか？筆者にはロボットにしか思えません。

金融の本領とは？なんででしょう。お金を預けた人に利子をつけてあげるとい
うのが金融の本領です。今の日本の銀行をみてください。利子はほぼゼロでしょう。つまりコストゼロで、大衆からお金を集めているわけです。仕入れコストがゼロの商売をしているわけです。こんな商売が続くわけはありません。

筆者が金融業の会社の株を絶対に買わない理由がここにあるわけです。年利5%くらいの金利をつける銀行が現れたら、その銀行の株を買います。筆者の父親はもう90歳ですが、会社を退職した35年前は金利5%というのは常識

的な数値でした。3500万の退職金をそのまま定期預金にしたので、年間で175万の利子収入があったわけです。豊かなリタイヤメント生活を送れたわけです。

さて国際金融資本家達にとってマネーで世界を統一するのが悲願です。左派のユダヤ人は自分達が神から選ばれた人民であるからそうなって当然だと信じています。世界を統一するには国境が邪魔なわけです。それで、世界中に中央銀行というシステムを次々に輸出したわけです。20世紀になって、中央銀行のない国は、アフガニスタン、イラク、イラン、北朝鮮、スーダン、キューバ、リビアの7カ国のみだったと考えられています。アメリカがアフガニスタンとイラクに侵攻したことにより、現在ではわずか5カ国を残すのみとなっています。

ロスチャイルド家の当主は、「一国の中央銀行を支配すればその国全体を支配

できる」「私に一国の通貨の発行権と管理権を与えよ。そうすれば、誰が法律を作ろうと、そんなことはどうでもよい」と発言しています。

こういう今の金融資本主義を変えようとしてそれを明確に主張しているのが、「れいわ新選組」代表の山本太郎氏です。

本日は安倍総理がトランプ大統領と組んでこの金融資本主義を変えないといけないのですが……

人 ■国という概念を認めない左派ユダヤ



自分達の価値、すなわち自分達が支配する統一国家という概念を既存の国家の上におくのが左派ユダヤ人です。だから、健全な国を見れば弱体化させるわけです。左派ユダヤ人は、国に干渉する機関が必要だと考えたわけです。国家の主権に干渉できる機関があれば、国をのつとることができるからです。

・国際機関は国から主権を奪う道具

それが、実は国際連盟、国際連合、IMF、といった各国の秀才達がこぞって働きたいという国際機関なんです。IMFなどは経済的問題が起こった国にお金を貸し付け、民営化を請け負うだけの機関です。民営化されれば国を超えて支配することが可能になります。

1920年、アメリカは当初上院の反対で国際連盟には加入できませんでした。まだ健全な勢力がアメリカに残っていた時代です。すべての紛争は二国間でやるべきだ。多国間でやるとまとまらないという考えがあったからです。多

国間でやってしまうと、弱者が常に邪魔をするので、なにも決められないのです。

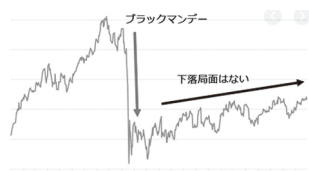
交渉事は、二国間でやって強者が譲るといいうのが一番早いわけです。トランプ大統領がTPOを破棄しましたね。そして二国間でやると言い出したのは、こういうことなんです。2019年の8月末に開催されたG7会議でも、共同声明はなしでした。多国間ではいつまでたっても決まらない、二国間でやるというトランプ大統領の強い意見が影響しているのでしょうか。日本とアメリカの貿易交渉だけはサッサと決まっていきましたね。トランプ大統領の見事な演出です。

・だれも反対できない正義の御旗の「平和」を利用した左派ユダヤ

すべての国際機関は、「平和」という正義を振りかざしています。しかし、実際は小国が大国に干渉できる仕組みを作ったわけです。左派のやり方は常に弱者保護という正義をふりかざして、混乱させるといいう手法をとります。目的は

混乱です。国境という概念の排除です。民族が団結しないように国際主義を普及させることです。そんなに混乱しているなら、統一政府を作ろうかという流れになるからです。これこそが、左派ユダヤ人の最終目的です。

・ブラックマンデーで優良企業をもにした左派ユダヤ



大暴落は優良企業の「のつとり」だと理解すること

1929年にニューヨークで大暴落が起きました。いわゆるブラックマンデーです。アメリカの優良企業の株も大暴落したのは、国際金融機関が仕組んだことです。狙いは、優良企業を安値に買い叩いて株主におさまり、企業を支配下

におくことでした。こうやって、FRBを支配することで金融をのっとり、ブラックマンデーで大企業ものつつたわけです。アメリカをのつつた左派ユダヤ人が、次にターゲットにしたのは中国と日本です。

・日中戦争を仕掛けた左派ユダヤ

中国ではソ連のロシア革命と同じく共産革命を起こすことに成功し、ソ連の衛星国にしたかったわけです。日本は民族の団結が固いため別の方法を取ったわけです。まず彼らがやったことは、欧米の武器商人が中国に最新式の武器を与え、日本と戦争できる状態にさせました。

次に、1935年に支那貨幣改革を実施し、中国の大衆から銀を吐き出させ蒋介石が発行する紙幣と交換するという政策をとりました。日本に対抗していた蒋介石を支持して勝たせないと紙幣が紙くずになるといふ悪意ある戦略です。蒋介石は、西安に拉致されそこで共産党と共に日本と戦うことを約束させられ

ました。なぜ、反共産党であった蒋介石が突然日本と戦うようになったのかは歴史のなぞですが、国際金融資本は、日本と蒋介石が対立するように工作したわけです。

・日本共産化の仕上げは太平洋戦争

さらに日本を追い込む作戦が、日本を外国から原油を買えなくする作戦です。アメリカのユダヤ人大統領のルーズベルトがやった政策ですが当時の政権はすべて左派ユダヤ人で占められていた状態でした。追い込まれた日本がアメリカに一撃を開始するのをずっと待っていたわけです。真珠湾攻撃も、事前に察知しながらハワイの軍隊に情報を知らせずアメリカ兵士を犠牲にしてまでも、日本に一撃をしてほしかつたわけです。真珠湾でアメリカ兵が多く殺されたため、アメリカにはとっては、日本と全面戦争をする正義の御旗ができたわけです。その結果、日本は中国に関わる余裕もなく、中国は完全に共産化されてしまったわけです。

ソ連を共産化したあと、中国も見事に共産化に成功したわけです。邪魔になる日本は叩き潰されたわけです。太平洋戦争は、世界を共産化するためにアメリカにいる左派ユダヤ人がしくんだ戦争だったわけです。左派ユダヤ人が支配するアメリカと民族主義の日本との闘いだったわけです。

日本が戦争に負けたあとGHQが戦後の日本の体制を決定しましたが、目的は日本を共産主義化することでした。もちろんマッカーサーのような軍人がそれを扇動したわけではありません。背後にいる左派ユダヤ人が日本に乗り込んできて、メディア、言論界、学会、大学、司法といった分野を支配したわけです。アメリカでやったことを今度は日本でもやったわけです。

・GHQの手先となったインテリ日本人

彼らの手先になったのが英語のできるインテリ日本人でした。毎月の給与が

1000万という破格の待遇でみんな日本を共産化するために仕事をしようになったわけです。日本人が日本を弱体化すればお金がもらえするという利権システムは、今でも生きています。いつの時代も、学校の勉強ができるだけの秀才というのは、左派ユダヤにお金で使われる存在なんですね。

だんだんと真相が自分で洞察できるようになってきたでしょう。読者は、精神武装をしてくださいね。

・ヒトラーは左派ユダヤと戦った

ドイツもまた国際金融資本のワナにはまったわけです。ドイツにも国際金融資本のユダヤ財閥があり、ヒトラーに資金を援助していたのです。敵対する勢力の両方にお金を貸すというのは、左派ユダヤのいつものやり方です。ヒトラーは第一次世界大戦で莫大な借金を背負ったドイツを見事に立て直したので、人氣があったわけです。貿易の決済システムにおいてマネーを使用しないでブツ

ブツ交換をやったわけです。さらにドイツ中央銀行を国有化しました。これが国際金融資本の逆鱗に触れたわけです。



国際金融資本のユダヤ左派と戦ったヒトラー

ヒトラーは愛国心のある頭のいい人ですね。マネーを使うと左派ユダヤ人に支配されることを分かってブツブツ交換をやり、左派ユダヤの権力の根源が中央銀行だと分かって国有化したわけです。第二次世界大戦は、左派ユダヤの権力を奪おうとしたヒトラーを極悪人にしたてあげるために巧妙に仕掛けられたのかもしれないね。アメリカのリンカーン大統領も1865年に中央銀行を国有化しようとして殺害されました。

学校で習う歴史では真実はまったわかりません。アメリカは、太平洋戦争、ベトナム戦争、朝鮮戦争と多くの若者の命を犠牲にしてきました。しかし、それは左派ユダヤが仕組んだ世界共産化革命のために仕掛けられたものだったのです。

・9・ 11事件も仕掛けられたワナ



見事な計画的ビル崩壊

アメリカに住む左派ユダヤ人は自国兵士を犠牲にしてまでそんなことをするのか？と思われるかもしれませんが、何千年もの間国を持たず迫害されてきた恨み多い左派ユダヤ人にとってはこんなのは常套手段です。2001年に起こった9・11を覚えているでしょうか？ 航空機がビルに突っ込んだあと、しば

らくしてダイナマイトで計画的に爆破されたようにビルが崩れたでしょう。ビルに入居していた、国際金融資本の企業の社員は当日は出勤してなかったという噂です。この事件のあと、「テロとの戦い」は、正義の御旗となって、中近東に戦争を仕掛けるようになったわけです。最近の100年間は、アメリカ政府は実はアメリカ人の政府ではなく、左派ユダヤにのつとられた政府だったということなのです。

今では、多くのアメリカ人もこのインチキに気が付いていて、左派ユダヤ人を敵視するようになっていきます。だからこそ、トランプ大統領が人気なんですね。もしかしたら、ユダヤ人排斥運動が起こるかもしれませんね。アメリカをのつとつたユダヤ人は出ていけという運動が起こってもおかしくありません。ユダヤ人は、再び世界を放浪する民族になるかもしれません。

世界のすべての紛争に左派ユダヤが関与していると言ってもいいでしょう。日

本に対しても左派ユダヤ人は紛争の種をわざと残すように太平洋戦争の処理をしたわけです。

北方領土、竹島、尖閣諸島など、すべてをあいまいにしておきました。ロシア、韓国、中国と、常に紛争することで日本を弱体化させたかったのです。

プーチン大統領は正確に左派ユダヤのこういったやり方を知っているので、日本を挑発しません。しかし、中国共産党と韓国の文在寅は、見事に左派ユダヤのしかけたワナにはまっっているようです。

左派ユダヤがやってきた歴史が明らかになってきている今、世界中の国家元首達は、この歴史を正確に学ばなければなりません。真実を知れば愛国心のある国家元首同士なら、分かり合えるはずです。韓国の文在寅大統領は勉強不足なのか、左派ユダヤに支配されているのか、分かりませんが言動が賢くはありません。あの程度では、大国に責任をもつ国家元首からは信頼されないでしょう。



図は「ちんぱん氏」のブログからの引用
[https://ameblo.jp/tinpanburiburi/
entry-11358396983.html](https://ameblo.jp/tinpanburiburi/entry-11358396983.html)

大転換する世界史そのあと中心となる国は？

■ トランプ大統領の出現は救世主登場

・執拗なメディアの印象操作が繰り返されるわけ

移民を排除する人種差別主義者のトランプという印象操作がメディアによって行われていますが、トランプは不法移民を排除すると言っているだけです。英語も話せない移民が無制限にアメリカに入ってきて国家内国家をつくり、警察も行政も手が出せない地域がたくさんできてしまいました。アメリカが分断されてしまったわけです。それをもとに戻そうとしているだけなんです。

共和党集会でのスピーチでは「選挙で選ばれてもいないディープステートが彼らの秘密の課題を推進するために有権者に逆らうことは、民主主義にとって脅威である」と言っています。明確にディープステートつまり国家に潜む別の国家がアメリカを支配してきたと言っているわけです。

1912年、ウォール街の左派ユダヤに大統領にしてもらったのがウイルソン大統領です。ウイルソンは国際金融資本に付度して彼らが民間企業でありながらアメリカの紙幣を発行できる権利をもった中央銀行FRBを1913年に創立させてしまったのです。FRBの株主はロスチャイルド系銀行、ロックフェラー系銀行をはじめとする欧米の金融資本家です。どうやって国際金融資本家がウイルソンをたらしこんだのか？ 実はウイルソンの不倫相手の息子が莫大な借金を作ったからその負債を返済するためにお金を出して欲しいと来たわけです。そんなお金はウイルソンにはありませんから、かわりに国際金融資本が出したわけです。こうやって、女とマネーで大統領を支配するようになったわけです。まさに、左翼のやり方です。

アメリカにおけるユダヤ人は全人口の2%ですが、最高裁判所の判事の9人のうち3人がユダヤ人です。FBIやCIAの幹部もユダヤ人が多いわけです。

金融機関とメディアはもちろんユダヤ人。アメリカは、実は少数民族のユダヤ人がのっとなってしまった国家なんですね。それを隠すために、LGBTだとか移民などの少数派をやたらに被害者にしたてあげて守るのが正義だと騒ぐわけです。

・愛国、心あふれるトランプ大統領

トランプ大統領の最初と2回目の奥さんは、移民です。今の奥さんもユーゴスラビア人です。お母さんはスコットランドからの移民です。娘のイバンカさんの夫は、ユダヤ教徒でイバンカさんもユダヤ教に改宗しました。私生活をみても、移民排除の気持ちはまったくなくないし、宗教にたいしても保守的でまともな宗教には寛容です。

ユダヤ人の左派が信じているような自分達は神から選ばれた民だから地球を支配して当たり前前という悪魔的なものには断固として反対しているだけです。き

わめて常識的な判断をしているだけですが、国際金融資本家が支配しているCNNなどのニュースは、トランプ大統領の人格をこれでもかというくらい叩いています。

ビジネスマンとしては2回の破産を経験しながらも、不動産王として成功しています。自分のゴルフ場を持ち、いつでも気のむいたときにゴルフができるという身分にまでなれたのは、自由なアメリカだからこそ成し遂げられたという思いがあるわけです。つまり、アメリカを愛する愛国者なんですね。

・日本の新聞もフェイク

日本の新聞がいかにも左翼に汚染されているかを紹介してみましょう。朝日新聞は、トランプが「社会の分断」を煽ってきたと主張しています。また米国の強みは流入する不法移民とともに成長することであるとした上で、米国では白人が着実に減っている反面、中南米系とアジア系が増えているのだから「人種

的な意識があるならば時代錯誤である」と言っています。真実は、不法移民が増えるとともに衰退してきたのにね。活字でこんなウソを書く。

読売新聞は、偉大な米国を取り戻すといった「単純なスローガン」の繰り返しによって危うい大衆扇動をしていると評し、トランプを支持する動きを「反知性主義」と断じてます。真実は、百年間にわたってアメリカをのっとなってきた左派ユダヤの悪魔的思想を見抜き、アメリカ人の手にアメリカを取り戻そうとする知性あふれる人物なのに。

日本経済新聞は、トランプが「人種差別的な発言」を繰り返していると断定した。またトランプの「極端な主張」は保守主義を体現していないと結論づけています。真実は、人種差別はしていません。過去3回の結婚相手は、いづれも移民や外国人です。だれよりもアメリカの伝統的な保守の持ち主です。

毎日新聞は、トランプがメキシコとの国境に壁を作って移民を締め出し、イスラム教徒の入国も禁じる訴えをしていると紹介したうえで、世界がこのような発言で息苦しくなっているとした。真実は、移民が不法であることをなぜ隠す、英語もできない勉強する気もないただの不法労働者が増えるのをなぜ、毎日新聞は解説しないのだ。

産経新聞は、「日米同盟の意義」を理解していない、「有無を言わず通商紛争を仕掛けるかのような」内向きで独善的な姿勢であると断定しています。真実は、日本は日本ファーストでやっていけ。アメリカに甘えるなです。アメリカはアメリカファーストでいく、もちろん、それぞれの国も各国ファーストで自立せよ。ということです。国際的な機関はすべて左派ユダヤに乗っ取られた機関だから、当事者の2か国で話し合えば早いだろうということなんです。

大手新聞社の新聞原稿を書いている人、本当に無知です。アメリカの新聞のコ

ピー・ペーストしかできないのでしょうか。自分で考えるということができないのでしょうか。戦後教育で有名大学を卒業した人つて、そんな程度です。答えや正解が用意されている問題しか解けないのです。自分で問題を提起することができないのですね。○×式、選択式の受験勉強の弊害です。

日本の国旗は日の丸です。太陽です。太陽のように公明正大であるのが日本人の日本人である理由です。ひねくれたことを言うメディアはもう日本の敵です。本当のことを隠してウソで洗脳するやり方は、日本の神様は許さないとはいけません。

こんな新聞をもう買うのはやめましょう。筆者はときどき、温泉や喫茶店で読むくらいです。雑誌はコンビニでさらっと目を通すだけです。ネットニュースの見出しだけで充分です。あとは本を読みましょう。本書を理解すれば、どんな本が良書なのかは読者が自分で判断できるはずです。

■精神武装をしてアカに気をつける

最近のテレビや新聞やあるいは、シンクタンクなども含めて気になることがあります。それは安倍総理を悪意をもって批判するような報道です。安倍総理に能力がないとか辞めろという発言をしているなら、その勢力が言う発言を無視したほうがいいでしょう。

総理の実務をしたこともない連中が、口から適当に言っている理屈を信じるのはこっけいです。政治とは51%の国益ためには49%を犠牲にするという世界だからです。そういう実務をやったことのない連中は無責任にいろんなことを言います。総理は、責任をもっているのです。この違いは徹底的に大きい。勘違いしているシンクタンクもいます。まるで自分が総理の参謀をやればもっと良くなるというふうなことを言っていますが……。

同じことがトランプ大統領にもいえます。アメリカのメディアはトランプ大統領をこけおろします。次から次へと大統領をとりまくスタッフが首になりましたね。国家情報長官、国土安全保障長官、国防長官、司法長官、国連大使、国務長官、など25名が首になり入れ替わっていますが、メディアはそれを思いつき、トランプの好き嫌いでやっていると報じます。

実際は、アカ狩り（懐かしい言葉ですが、共産党分子の排除です）なんですね。つまり、左派ユダヤに影響されている人を首にしているだけです。オバマ大統領のときは、側近がすべて左派ユダヤで固められていました。左派ユダヤが選挙資金を出したからオバマもそれを断れないわけです。しかし、トランプは自腹を切って選挙に臨んだわけです。

それが分かっているからこそ、多くのアメリカ人がトランプを支持している

わけです。しかし、メディアはトランプがアカ狩りをしているということをまったく伝えません。意図的に伝えません。悪意がそこにはあります。メディアが左派ユダヤにのっとられているからです。

トランプ大統領は、「アメリカファースト」と叫びそのあとには「各国ファーストであれ」と叫んでいます。なぜか「各国ファーストであれ」は報道されません。

トランプ大統領は、「アメリカを頼るな。すべての国は、自国民ファーストで国民の利益と福祉を大切にしろ」と叫んでいるだけなのです。

アメリカの製造業は、一部の軍事産業を除き、みんな全滅になりました。人件費の安い国に工場を移転したからです。その結果、アメリカ国民は貧乏になつたわけです。一部のウォール街の左派ユダヤ人の支配する金融関係者を除いて

です。トランプ大統領はそれを解消したいのです。建国の精神と愛国心こそがトランプの原動力です。

・愛国心のあるプーチン大統領とトランプ大統領は分かり合える

愛国心のあるトランプ大統領は、当然ながら、愛国心のある国のリーダーとは仲良くするでしょう。じゃあ愛国心のあるリーダーとは？まずは、ロシアのプーチン大統領でしょう。愛国心よりも共産主義を愛する中国のリーダーとは相いれないはずです。左派ユダヤ人にとってプーチンは最大の敵ですから、大統領選においてトランプ大統領はロシアを通じていたという疑惑をでっちあげたわけです。ロシアゲート事件ですね。いくら司法が左派ユダヤにのつとられていても、100%シロのものをクロにはできなかつたわけで、トランプ大統領の完全勝利となりました。

トランプ大統領は、北朝鮮の金正恩氏がエゴに支配されるようだと相いれな

いでしょう。自国民のために働くなら譲れる部分は譲るでしょう。これまでは、左派ユダヤの国際金融資本が北朝鮮を支援してきたのですが、これをストップさせたのはトランプ大統領です。

左派ユダヤの国際金融資本とは、分断させて最後は金融で統治するという思想の持ち主ですが、北朝鮮からはすでに手を引いたということです。

・日本に自立せよと迫るトランプ大統領

日本は戦後ずっとアメリカに依存してきたのですが、「もう卒業しろ」とトランプは言っているだけです。自分の国のことは自分でやれと。だから日米安保ももういらなんぞ言ってみせるわけです。アメリカの副大統領が最近、ご丁寧にも、「日本の憲法はGHQが作ったものだ」と発言したのも自立しろというメッセージです。

地球を支配しようとしている国際金融資本（左派ユダヤのことであってイスラエルの民のことではない）、からの大転換をやるうとしているのが国際情勢の根源なわけです。トランプ大統領だけではありません。イギリスもそうです。だから、EUから脱退するわけです。ロシアもそうです。プーチン大統領は、国際金融資本にロシアの資源を奪われそうになった痛い経験をしています。だから資源会社を国営化したわけです。国際金融資本は、うまい汁を吸うことができなくなったのでプーチン大統領を敵視しています。

各国ファーストだと国際金融資本は儲けることができない。地球規模のグローバル企業で搾取して儲ける手口が使えないからです。国境という概念を破壊して世界統一政府をつくりたい国際金融資本にとっては、各国ファーストが邪魔なわけです。

日本はどうでしょう。安倍総理は愛国心のある人のようですが、いろんなス

キャンダルを左派ユダヤのメディアから起こされています。清廉潔白では政治家はつとまりませんから、叩けばホコリはでてくるでしょう。しかし、政治は51%の国益のために49%は犠牲にするという現実があります。

・安倍総理の後は？

安倍総理の後釜を狙っているのが、石破茂、岸田文雄ですが、彼らの発言を注意しておいてください。憲法9条改正は必要ないと言ったら、左派ユダヤのマナーあるいは中国共産党のマナーで操られていますから。南京大虐殺などの事件をもちだして旧日本軍の行動を批判しているようなら間違いなく中国共産党のマナーにやられています。

小泉進次郎はどうでしょう。父親の小泉純一郎はアメリカの左派ユダヤに育てられた人です。だからこそ、彼らの要求に従って郵便局を民営化したわけです。ノルマに追われた郵便局員が、保険の営業で顧客を騙してまで契約を取るよう

になったわけです。

左派ユダヤの国際金融機関は北朝鮮をずっとマネーで支援してきたを思い出してください。小泉元総理は取引したのでしょね。「郵便局を民営化する代わりに、北朝鮮に拉致された人を返せと」。どういう動機でやったのでしょうか。愛国心からでしょうか？拉致被害者を救うのが使命だと思ったからでしょうか？それとも・・・読者が自分で考えてください。

・狙われる皇族

皇室の秋篠宮も、しばらく前からこけおろされているようです。兄の天皇と一緒に酒を飲んでどうのこうのとか・・・娘の眞子様の交際相手がどうのこうのとか・・・悠仁様の学校の机の上にナイフが置かれたとか・・・。

君民一体という日本の伝統精神のキーである皇室も国際金融資本にとっては、邪魔なんですよ。

ポイントを書いてきたけど、もう分かるでしょう。左派ユダヤのやり方が分かってしまえば、洗脳されずに済みます。精神武装をしてください。ネガティブな波動をもった意見は、すべて捨てたほうがいいのです。分断して統治するという左派ユダヤのワナにはまりたくなければね。

・唯物史観を植え付けるNHK

注意すべきメディアをあげておきましょう。朝日新聞の本社には左派ユダヤのニューヨークタイムズの支局があります。NHKの本店には、中国の中央電視台の支局があります。あきらかに、朝日新聞とNHKは、反日・左派ユダヤの拠点になっています。

先日、鳥が卵をだくのはどうしてか？というNHKの番組で、専門家が「卵は冷たいから身体を冷やしたい親鳥は冷却効果を狙って卵を利用しているだけ。

愛情があるから卵を抱くわけではない。」と断定していました。これが反日の専門家の正体です。

生き物を、機械じかけのように論じたほうが、学会では専門家として評価されるわけです。学会そのものが、左派にのっとられているからね。測定器では、愛情を測定できないから科学にならないんだろうね。気持ち悪い理屈ですが、学者の多くが反日に利用されています。マネーで操られているのでしょね。

このNHKの番組をみて、左派ユダヤ人の心理学の大御所、フロイトを思い出しました。赤ちゃんが、おっぱいを求めるのは、性欲があるからだという説をとねえた人です。愛情とか慈しみとかを否定する共産主義の理屈です。気持ち悪くなりませんか？まともな人なら悪魔の理屈は気持ち悪く感じるのです。

・唯物史観を植え付ける古い運命学

運命学も同じです。言葉（格局・用神・特殊星など）を作り出して人を分断するという手法を採用しています。まさにヒトを機械仕掛けの生き物のように運命は計算で分かるという運命学が何十年も続いてきたわけです。分断思考はヒトは自分の可能性を捨ててしまいます。こうやって元気を削ぎ、エリートの家畜になりさがるヒトを育成していくわけです。まことに悪魔的です。フォーチュンソフトの運命学は、可能性を開く運命学です。太陽の国、日本からそれを世界に広めていかないとなりません。

・相場で勝つための精神武装

真実が見えてくれば、相場で儲けることも難しくありません。ただし、愛国心がないとダメです。愛国心のない相場というのは、儲かればなんでもいいという国際金融左派の独壇場です。同じ土俵に上がって勝負するのは馬鹿げていまず。世界中の情報を集めてAIで解析して1秒間に何千回も取引を繰り返す相手と同じ土俵に上がって勝てると思っっているのでしょうか？

彼らの欠点はなんでしょう。短期売買しかできないということです。3か月ごとに成績を出してこれだけの利益を出しましたと株主レポートに書かないといけないのです。こういった欠点を我々はもっていません。8年とか15年先に資産が倍増していればいいという長期で投資すればいいのです。長期投資という時間こそが我々の武器です。

・投資先をどうやって選ぶ？

どういう企業に投資したらいいのか？簡単です。伝統的な日本の精神を守っている企業です。「働くことは神ごと」であるというのが日本の伝統です。神々が行ってきたのが労働です。神々が行うから我々もやる。働くことは喜びであるというのが世界でも稀な日本の伝統です。

労働＝コストという発想で会社を運営しているなら、そんな企業は投資の対

象にはなりません。左派ユダヤに洗脳された経営は10年という単位でみるとこれからなりたりません。コスト・コストと叫ぶ外国人経営者や役員がいるなら投資しません。

リストラを安易にやる会社にも投資しません。一部の幹部だけが数億円の報酬をとるような企業には投資しません。外国に出て行って工場を作り、現地の人により良い商品を提供し、現地の従業員に十分な給与を払って感謝されるような企業なら投資します。途上国の人は、人件費が安いからという理由だけで工場を作るような企業には投資しません。

「商いは仏道修業」だと理解していて、ひたすら消費者に奉仕するよう心がけ、商売の合理性と儉約に務めるといふ伝統的な商人道を実践している企業に投資します。

最近は、株価も〇月〇日に、暴落するという占いをするシンクタンクもいますが、愚衆相手の商売です。当たる当たらないで支配できるのは愚衆のみです。たとえ一時は当たっても、最後は破産する運命にあるのは歴史がもう証明しています。真の投資家は、予知しません。予知したいという気持ちですが、もう負けています。

あるシンクタンクは、地球が寒冷化して、みんな元気がなくなるから、バーチャルリアリティのゲームを家にこもってやるようになるから、そんな機器を開発している企業の株を買ったらいいというシンクタンクもいますが、馬鹿げてます。

筆者なら、西洋医学では治らないと言われた、前立腺肥大、緑内障、脳梗塞、こういった症状を直す、最先端の東洋的医療を開発している企業に投資します。どうしてかって？自分と自分の親が、そううった症状で苦しんでいるからです。

・仮想通貨って？

仮想通貨ってなぜ突然登場してきたのか？もう分かるでしょう。国際金融資本のはじまりは、FRBなどの中央銀行という民間企業の創立から始まっているからです。FRBも日本銀行も、国の持ち物ではありません。民間企業です。だから株主である左派ユダヤの支配下にあるわけです。

民間企業である日本銀行が、紙幣を発行して国に貸しているわけですが、おかしいと思うのが常識です。民間企業が、なんで国にお金を貸すんだ？このインチキに気が付いて国に中央銀行を取り返そうとしたのが、リンカーン元大統領やケネディ元大統領です。だから、暗殺された。トランプ大統領も、このインチキを知っています。だから、中央銀行が関与できないマネー（仮想通貨）を生み出そうとしているように思います。

2019年8月末、カーニー・イングランド銀行総裁が米ドルに替わる新た

なデジタル通貨を発行する構想を公言しました。カーニーは国際金融資本のゴールドマン・サックスで働いていたこともあります。はたして、左派ユダヤのまわしものなのか？それとも・・・だれが仮想通貨の信用づけをするのか？で勝負が決まると思います。たとえば、トヨタが仮想通貨を発行してトヨタグループの商品が買えるなら、筆者なら円を売ってトヨタ通貨を買います。だれが株主かもわからない日本銀行よりトヨタのほうが信用力があると思うからです。

今世界で起こっていることは、100年ぶりの体制の転換なのです。古い体制を作ってきた連中（左派ユダヤのグローバリズムという名の共産主義）が、新しい体制（各国ファーストという名の愛国主義）を作ろうとしている人達を攻撃している真つ最中ということなんですね。

・具体的な精神武装

他人や他国を非難することは避けましょう。韓国のように日本を非難ばかりし

ていると、韓国人は自分の国に誇りをもてなくなり、日本の統治がひどかったから韓国は自立ができないと文句を言っていますね。これでは、韓国人は、自国の伝統的な文化にも無関心になり、自国の価値はないと思ってしまう。韓国人には、成功したら海外に移住することが最終的な夢だという人が多いのです。

自国に誇りを持たない民族が、発展することはありません。日本人なら日本の伝統文化を愛せるようになるべきです。良くない点があるなら、自分で責任をもって国を変えていくくらいの気持ちを持ちましょう。

原爆を落とされても日本人はアメリカを恨むどころか、いろいろな技術を教えてくれて感謝できる民族です。すばらしい太陽神の民族です。こういったポジティブな精神があるからこそ、戦後70年でこんなにも発展してきたわけです。もし、原爆を落としたアメリカが憎いと恨み続けていたら、日本はこんなにも

発展していません。

これから、左派ユダヤ人はアメリカやイギリスを追い出されるかもしれませんが、日本はそれに追従してはいけません。彼らを土着させ、日本人化させるくらいの気持ちでいることが太陽神である日本民族の務めです。

・世界の中心は日本になる

もうわかりましたか？ こういう太陽神の精神をもっていれば、これからの世界の中心は日本になるのです。日本には、八百万（やおやよるず）の神々がいる国です。

弥生時代には、国を失ったユダヤ人が日本に流れ着きました。高度な技術をもったユダヤ人が土着してくれたおかげで、日本は木造建築などの技術で世界最高レベルになったわけです。太古の昔からいた日本民族だけでは、法隆寺な

どの世界最古の木造建築などは建築できなかつたはずです。外部の人材を受け入れて、土着化させたからこそ、技術立国日本が誕生したのかもしれない。

左派ユダヤ人達は、日本に来てそういった歴史を研究済みです。日本政府が移民政策を大きく変えたのを見ると、今は日本をのつとる気持ちでいるのかもしれないませんが、それは皆さんが精神武装していればいいだけです。恨みと憎しみに満ちた彼らの悪魔的思考を見抜けばいいのです。その上で、太陽神の精神で彼らを迎え入れ土着化させればいいのです。

つまり、土着化させる実力が日本には求められているわけです。

我々太陽神の民族が覚醒するとき世界史が変わる
～生き残るために精神武装せよ～

第1版

2019年9月末

定価 12,800円

■出版元

(有)フォーチュンソフト

北海道河東郡鹿追町瓜幕西33線200の8

TEL 0156-67-2742

ホームページ <http://www.soft.co.jp/>

電子メール ckk02363@nifty.com

代表 天野雲海

主な活動

- 一、現実の生活を豊かにするための占いの普及
- 二、フォーチュンランチの運営
自分自身への調教が馬の調教に応用できる
アメリカン馬術の普及と指導
- 三、三十年計画で富裕層になるための
長期投資の普及と指導
- 四、国際結婚の紹介

166